

事業概要： DX技術導入や地域連携を主軸とした農林業の構造改革推進事業

申請者	宮城県	初回採択回	令和6年度第1回募集						
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	264,780千円 (78,249千円)						
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野						
目的・効果	人口減少の影響が強い農林業を包括的に支援することで、相乗効果により産業構造全体を改革する ・生産：効果の高いDX技術導入を推進し、人材不足と低効率の改善を図る ・加工～販売：生産者と関係業者のマッチング、商品開発やサプライチェーン構築を支援し、収益性改善を図る ・人材育成：高校生や未経験者まで支援対象を広げ、地域全体で育成し、人材確保を図る								
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 産業構造全体に対して包括的な支援を実施する。生産から加工・流通・販売までのサプライチェーン全体について、DX技術導入等の優良事例の横展開や、国際的な需要に対応した新たなサプライチェーンの確立、地域・関係団体と連携した高付加価値化に取り組む人材の育成等を図ることにより、産業構造全体の改革を図る。これらの取組を実施することにより、本県の農業・林業分野を、収益性が高く若者から選ばれる産業へと転換し、地方創生の実現を目指す。	人口減少局面に向け、農林業の構造全体を改革 <table><tr><td>生産</td><td>加工・流通・販売</td><td>人材育成</td></tr><tr><td>重労働 ↓ 低生産性 優良DX技術の導入支援 ↓ 生産性向上</td><td>低付加価値 ↓ 低収益 生産・加工・販売業者が連携した商品開発等支援 ↓ 高付加価値化</td><td>低収益等による 担い手不足 ↓ 高校生・未経験者に対象を拡大、地域一体で就業 ↓ 支援 ↓ 人材確保</td></tr></table> 相乗効果 ↓ 収益性が高く、若者から選ばれる産業へ！		生産	加工・流通・販売	人材育成	重労働 ↓ 低生産性 優良DX技術の導入支援 ↓ 生産性向上	低付加価値 ↓ 低収益 生産・加工・販売業者が連携した商品開発等支援 ↓ 高付加価値化	低収益等による 担い手不足 ↓ 高校生・未経験者に対象を拡大、地域一体で就業 ↓ 支援 ↓ 人材確保
	生産			加工・流通・販売	人材育成				
重労働 ↓ 低生産性 優良DX技術の導入支援 ↓ 生産性向上	低付加価値 ↓ 低収益 生産・加工・販売業者が連携した商品開発等支援 ↓ 高付加価値化	低収益等による 担い手不足 ↓ 高校生・未経験者に対象を拡大、地域一体で就業 ↓ 支援 ↓ 人材確保							
【R8年度事業 経費内訳】 ○DX技術導入による生産性向上（報償費等、3,684千円） ・農業：DX技術研修会・アドバイザー派遣、農業用ドローン操縦者育成支援 ○高付加価値化・サプライチェーン構築（委託費等、56,015千円） ・農業：マッチング、商品開発に係る支援・経費補助、商談会開催補助、 ・林業：市場の需要調査、県産広葉樹の認知度向上に関する広報活動等 ○人材育成確保（報償費等、18,550千円） ・農業：関係機関コンソーシアム形成・運営、研修実施 ・林業：人材育成プログラム実施、関連機器導入									
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農林水産出荷額（+1億6,410万円） ②本事業を契機としたDX技術導入事業者の増加数（+40者） ③生産者・加工業者・販売業者の連携等による付加価値向上に資する商品開発数（+40件） ④人材育成プログラムの修了者数（+25人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seisaku/tihousousei-deziden.html						

事業概要：インバウンド需要獲得と海外販路開拓による好循環創出事業

旧制度（推進）

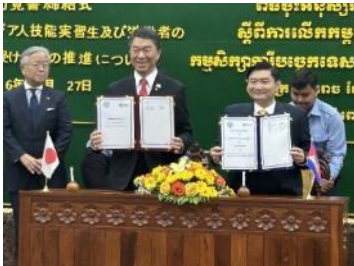
申請者	宮城県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	550,385千円 (163,608千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	インバウンド需要獲得と輸出を通じた海外販路開拓との好循環を創出し、地域産業の発展を実現する ・外国人観光客の誘客：体験型の観光コンテンツの造成により本県への誘客や滞在日数の増加を図る ・県産品ブランド化促進：海外で県産品の認知を高め、外国人観光誘客と輸出強化につなげる。 ・外国向けの販路拡大：新たな海外販路を支援し、県産品の露出機会の増加や認知度向上を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 歴史・文化・自然などの地域資源を活かしたインバウンド向けの観光コンテンツの造成、海外市場における県産品の販路開拓支援及び県産食材のブランド力強化等により、「歴史・文化・自然」と「食」という本県の強みを活かしたインバウンド需要の獲得を図る。この取組からインバウンド需要獲得と地元産品の輸出を通じた海外販路開拓との好循環を創出し、国内市場の縮小が見込まれる中でも地域産業の発展や質の高い雇用が維持され、活力ある地域を実現する。	課題 人口減少による国内市場の縮小 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○外国人観光客の誘客（委託費等 60,000千円） ・多賀城等の歴史や文化を活用したナイトコンテンツの造成 ○県産品ブランド化促進（補助金等 22,078千円） ・消費者と県産品との多様な接点の創出を目的としたプラットフォームの運用等 ○海外向けの販路拡大（委託費等 81,530千円） ・県産食品の現地需要発掘、商品開発、輸出支援 ・新たに輸出に取り組む ・事業者のスタートアップ支援、県産工芸品等のプロモーション	将来像 地域産業の発展	
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+34億円） ②松島湾地域における観光客入込数の増加数（+93万人） ③プラットフォームの海外アクセス割合（+1.5%） ④本事業を通じて海外展開した県産品数及び事業者連携による輸出バリューチェーンモデルの構築数（+288件）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seisaku/tihouseisei-deziden.html

事業概要：「オルレ」を基軸とした欧州・アジア顧客獲得事業

継続

申請者	宮城県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	547,773千円 (126,033千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「オルレ」を基軸として海外需要の高いコンテンツを造成し、アジア圏を中心にPRする他、観光消費額が高い欧州からの誘客体制を整備する。加えて、こうした観光事業を地域で運用できる体制を整備することで、インバウンドを絡めた観光産業の振興、延いては地域活性化を達成する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタルプロモーションやマーケティング分析、効果測定を通じ「海外観光客向けの認知度向上」を目指す。また、「消費単価が高い海外宿泊観光客の増加」を図るために、滞在の長期化や観光消費額の増加が期待されるアウトドアコンテンツの造成や磨き上げ、東北各県や仙台市、東北観光推進機構と連携して、効果的なプロモーション等を展開する。					・国内外から2,000人規模の集客が見込める アジア・トレイルズ・カンファレンスを誘致 ・併せて国内外PRを実施し、県の認知度を向上  ・東北他県等と連携して観光データを一元化、デジタルプロモーションを実施  ・フランスを中心とした欧州向けPR  インバウンドを絡めた観光産業の振興	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○オルレを基軸とした県内PRと周遊促進（委託費等 63,733千円） ・国際的ウォーキングイベント『アジア・トレイルズ・カンファレンス』による県内各地の機運醸成、新規コースオープンの加速化、国内外向けPRの実施等 ○デジタルを活用した観光プロモーション（委託費 18,100千円） ・東北観光推進機構や、東北各県、新潟県、仙台市と連携した、観光データ一元化・分析のためのプラットフォーム運営 ・OTA（旅行予約サイト）への掲載を始めとする、顧客に情報をダイレクトに届けるためのデジタルプロモーションの実施 ○新規市場を対象としたインバウンドの促進（委託費、負担金等 44,200千円） ・新潟県、東北各県、仙台市、観光推進機構と連携し、フランスを中心とした欧州へのプロモーション等の実施 ・海外向け公式サイト「Visit MIYAGI」等による、欧米豪向けの情報発信等						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+2,010億円） ②宿泊観光客数（+174万人泊） ③外国人観光客宿泊者数（+48万人泊）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyagi.jp/so-shiki/seisaku/tihouseisei-deziden.html

事業概要：外国人から選ばれるみやぎへ～外国人材獲得・定着サポート推進事業～

申請者	宮城県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	500,159千円 (165,256千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少への対応として、県内企業が外国人材を獲得できるよう、人材確保・受入体制整備・定着促進を図る。その結果、地域の担い手不足や県内企業の人手不足の解消につなげるとともに、国籍を問わず多様な地域の人々が活躍でき、安心して暮らすことができる社会を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 外国人材の受入先となる県内企業の掘り起こしや外国人材とのマッチング支援を行うとともに、現地において本県への就労や留学を希望する学生への支援を行う。また、国外におけるワンストップの人材サポート体制の構築を行い還流人材の活躍支援を行うとともに、ジョブフェアや国際交流イベントを開催し、外国人材の受入れにつなげる。					 人材送出・受入推進に関する覚書を結んだ カンボジアやインドネシアを中心に受入支援	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○外国人材の受入支援（委託費等 70,266千円） ・企業と外国人材の双方に対する、相談から定着までをワンストップで支援 ・協定・覚書を結んだ国を中心に、県内企業と連携しジョブフェアイベントを実施 ○企業における受入環境の整備（委託費 11,965千円） ・労働環境整備のため、企業に専門コンサルを派遣し、労働環境や雇用条件等の指導を行う ○外国人材の定着促進（委託費 23,025千円） ・県内外国人材向け日本語講座実施、本県で活躍する外国人材同士の交流会事業実施 ○現地における受入体制の構築（委託費 60,000千円） ・本県での就職に向けたイベント開催、現地教育機関への訪問等、高度人材の就職マッチング、県内公立日本語学校の留学生募集支援、渡航手続きサポート、現地日系企業との関係構築、還流人材による本県の魅力発信						
主なKPI	①県内外国人労働者数（+3,000人） ②外国人受入事業所数（+600所） ③県内での就職及び留学に対する関心層人数（+9,000人）					URL	https://www.pref.miyagi.jp/shiki/seisaku/tihousousei-deziden.html
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

申請者	宮城県					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	385,059千円 (89,895千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・生産力強化：収量増加のための機器導入の支援やスマート機器の技術研修会・普及支援を行い、生産力強化を図る ・販路開拓：民間の加工・販売関係事業者等と連携し、海外向けの加工・販売を推進し認知度向上・PR効果に寄与する ・イノベーション：加工品製造業者とOEMのマッチングやインバウンド需要を取り込むためのキャッシュレス決済などデジタル技術の導入・定着支援することで、農山漁村が持つ商品・サービス開発のモデルを育成する これらを一体的に取り組み、本県の農林水産業を高収益・若者から選ばれる産業へと効果的に転換し、地方創生を実現する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 新たな生産体制のモデル実証や技術導入、スマート機器の普及を行い、一次産業の生産力強化する。得られた特産品を販売のため、民間事業者等と連携し、稼ぐ力に対する磨き上げや経営基盤の強化に寄与する。加えて、農泊地域間の受入体制づくりやインバウンド需要を取り込むためのキャッシュレス決済などデジタル技術の導入・定着、旅行会社とのマッチングを支援する。これらの取り組みにより、生産、加工、販売、農山漁村発イノベーションを一体的に支援する。					DXを中心とした 生産力強化 訪日外国人向け等の 販路開拓 一体的に推進 農山漁村発イノベーション 地方創生の実現！		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○DXを活用した生産力強化（委託費、補助金等 13,395千円） ・農産物における需要拡大に向けたプロモーション・生産施設のモデル実証他、増収に向けたDX機器の実証及び情報発信、整備支援 ○訪日外国人向けの商品開発等（委託費、補助金等 63,758千円） ・訪日外国人向けの商品開発にかかる費用補助他、販路拡大、商品開発に向けた専門家の指導、首都圏での販売会、県産木材のPR及び活用補助 ○農山漁村発イノベーション（委託費 12,742千円） ・農山漁村の新品・サービス開発向けマッチングサービス作成等、農泊地域の体験プログラム造成・旅行会社とのマッチング等							
主なKPI	①地域における農林水産出荷額（+5,470千万円） ②本事業を契機としていちごの輸出に取り組む生産者数（+4経営体） ③訪日外国人を対象とした商品開発等による受入体制整備を行った中小企業者数（+30事業者） ④本事業を契機とした農山漁村における地域資源を活用した商品開発数（+3件）					URL	※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seisaku/tihousousei-deziden.html	

事業概要：多様な人材活躍によるインクルーシブ社会実現推進事業

継続

申請者	宮城県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	470,428千円 (186,046千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	若者の県内就職支援、女子学生を対象とした、セミナーの開催、障害者と企業のマッチングを通じ、多様な人材に対してアプローチを行う。また獲得した人材がスムーズに県内定着できるよう主体の体制強化を図る。本事業を通じ、『人材獲得』、『受入体制整備』の両面から支援することで、多様な人材が活躍できるインクルーシブな地域社会を形成する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多様な人材の獲得を目指し、ウェブサイトの構築やセミナーの開催、学校・企業見学会を開催する。また障害者雇用コーディネーターを設置し、企業に対して社内体制整備、ミスマッチを防ぐ取り組み、採用後の対応に関する支援を継続的に行う。獲得した人材がスムーズに定着できるよう、主体の体制強化、受け入れノウハウの提供、現場訪問の実施等を行う。人材獲得と受け入れ体制整備の両面からの支援により、多様な人材活躍を波及的かつ包括的に推進する。					人材獲得 若者・女性・障害者人材の確保  受入体制整備 県内定着支援、企業の受入体制整備  両面から支援 多様な人材が活躍できる インクルーシブな地域社会の実現！	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○若者・女性・障害者人材の確保（委託費、補助金等 107,799千円） ・県内企業と学生のマッチング支援、小中学生へのキャリア形成支援等 ・女性活躍や多様な働き方に取り組む県内企業の訪問ツアー、ポータルサイトによる情報発信、県内企業における女性にやさしい職場環境づくりの支援等 ・障害者雇用に係る助言や、企業向けテレワーク就労の講習、合同就職面接会の実施等 ○多様な人材の県内定着促進（委託費等 20,629千円） ・市町村等が自身の地域特性を把握し、移住者が定着できるような分析・指導を行う他、ワンストップの相談対応を実施 ○企業の受入体制整備（委託費、補助金等 57,618千円） ・インターン経験の浅い県内企業等に対する指導 ・女性活躍に向けた課題抽出・改善指導 ・産官等連携した障害者雇用推進ネットワークの構築及び伴走型による起業支援 ・企業体力向上のためのDX経営人材の育成支援						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+390人） ②本事業の参画企業におけるインターンシップ受入数（+800人） ③女性のチカラを活かす認証企業数（+270社） ④本事業への参加企業における障害者新規雇用者数（+600人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seisaku/tihousousei-deziden.html

事業概要：みやぎ「地域おもてなし力」向上プロジェクト

継続

申請者	宮城県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	56,000千円 (20,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「宮城オルレ」をはじめとする観光コンテンツの魅力や持続性を向上させる質の高いローカルガイドを育成・確保するとともに、学校や地域住民、団体、宿泊施設が連携し、文化体験と宿泊を一体化させた「みやぎモデル」による付加価値の高い体験型コンテンツを提供することにより、地域全体で外国人旅行者を迎える体制が整備された、「地域おもてなし力」の向上、延いては外国人観光客宿泊者数及び観光消費額の増加を達成する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「宮城オルレ」をはじめとした観光コンテンツについての的確に案内できるローカルガイドの育成等を通じ「観光コンテンツの高付加価値化」を行う。また、「地域における宿泊・体験需要に対する体制整備」を図るため、旅行商品化に耐えうる観光コンテンツの価値向上、訪日教育旅行の受入環境整備等を展開し、国外に向けて積極的にプロモーションを行う。					質の高いオルレガイドの 育成・確保 文化体験（干し柿づくり・ 流しそうめん・餅つき・昔遊び）     地域児童との合同宿泊・ 地域住民による見送り 授業・クラブ・ 給食体験 学校・地域との交流を通じた文化体験と宿泊の一体化 ▶「地域おもてなし力」の向上・インバウンド拡大へ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ローカルガイドの集中育成・確保による宮城オルレ高付加価値化（委託料 10,000千円） ・宮城オルレの磨き上げを実現するため、コースを管理する各市町や観光協会等と連携し、ローカルガイドの育成・確保に向けた体制を整備する ・宮城オルレの旅行商品化に向け海外旅行会社等を招請し、ソフト面での磨き上げなど高付加価値化を図る ○地域全体での訪日教育旅行受入体制の整備（委託料 10,000千円） ・文化体験を提供することでインバウンドの確実な拡大を図るため、学校、地域住民、宿泊施設等「地域全体」と連携し、宮城ならではの宿泊モデルを構築する ・旅行先や訪日教育旅行要件の決定権限を有する機関を招請し、“みやぎ型教育旅行宿泊モデル”を実体験させることで、モデルへの理解と浸透を図る						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+2,010億円） ②外国人観光客宿泊者数（+48万人泊） ③宮城オルレの延べ利用者数（+19,337人） ④海外からの教育旅行来県者数（+1,069人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seisaku/tihousousei-deziden.html

事業概要：気仙沼湾周辺を中心とする防災×賑わいの地域づくり事業

新規

申請者	宮城県、気仙沼市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,764,868千円 (511,818千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	気仙沼湾周辺の重要施設が集積するエリアにおいて、防潮堤の整備を計画的に進め、地域経済の基盤を安定させることで、工場誘致や生産物の販売拠点等の整備による地場産業活性化につなげる。また、防潮堤を舞台とした新たな誘客コンテンツの創出や観光交流拠点の機能強化を図ることで、「安全・安心な地域」をPRし、交流人口拡大につなげる。ハード・ソフト両面からの重層的な取組により、多様な人々が安心して暮らし、働き続けられる「レジリエンスと賑わいが共生する持続可能な水産・観光都市」の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 インフラ整備によるハード面での安全確保による経済活動のリスク軽減を図ることで、企業や大規模な設備投資の誘致を図り、安全と賑わいが共生するレジリエントな地域モデルを構築する。また、観光交流拠点施設の改修とドローンショー等の新技術活用イベントを連動させることにより、ソフト面で安全・安心なまちのPRや誘客イベント、拠点整備による賑わいの創出を進め、安全・安心で持続可能なまちづくりを推進する。					 ソフト 観光交流拠点の機能強化	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・観光地から指定避難所までの避難誘導標識整備（委託料）19,976千円 ・防潮堤付近におけるドローンショー等のイベント開催（委託料）30,000千円 ○拠点整備事業 ・気仙沼大島ウェルカム・ターミナルの改修 29,842千円 ○インフラ整備事業 ・防潮堤 432,000千円					安心・安全で持続可能なまちづくり ハード 防潮堤の整備 	
主なKPI	①観光消費額の増加額（推計）（+124,956千円） ②地域における宿泊観光客数（気仙沼・大島地区）（+2,700人） ③気仙沼大島ウェルカム・ターミナル来館者数（+26,913人） ④避難誘導標識・避難所標識設置箇所数（+184箇所） ⑤ドローンショーの集客数（+19,500人） ⑥防潮堤整備に伴う進出企業数・設備投資件数（+4件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seisaku/tihousousei-deziden.html (令和8年9～10月公表予定)

事業概要：「風の人」を起点とした人財還流による企業活性化プロジェクト

新規

申請者	宮城県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	188,214千円 (62,738千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	首都圏に集中している、若者・女性に魅力あるコスメ産業等の業界・人材をターゲットとした地域資源・地域課題・地域企業とのマッチングにより産業クラスター化やイノベーションの創出を目指す。また、農業法人等への外国人材受入体制の整備や留学生の県内定着支援により、県内産業の活性化を図る。これらを通じ、県内経済の活発化と若者の県内定着の好循環を目的とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 首都圏に集中している、若者・女性に魅力あるコスメ産業等の業界・人材をターゲットとして地域資源・地域課題・地域企業とのマッチングを支援し、本件が有する自然素材を利用した商品開発事例を創出する。あわせて農業法人等への外国人材受入体制の整備や留学生の県内定着支援を行い、多様な農業人材の確保・育成を図ることにより、労働力の増加にとどまらず、県内経済の活性化と若者の県内定着に寄与する。					若者・女性 外国人材  魅力的な企業の誘致 農業分野での活躍 東京圏等の県外から地域に継続的にかかわりを持つ「風の人」へのアプローチを起点とした新たなイノベーションや雇用の創出を図る	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○首都圏企業・人材の集積による若者の県内定着 ・若者・女性が魅力を感じるコスメ関連企業とのネットワーク創出による産業クラスター化に向けた首都圏企業等の地域の未利用資源を活用した新商品開発等の支援、シンポジウムの開催等（委託料）16,600千円 ・外部IT人材等と県内企業とのマッチングサイトの運営・セミナー実施（委託料）33,275千円 ○外国人材の県内定着と農業分野での受入体制構築 ・日本語学校運営・留学生県内就職支援(委託料) 8,813千円 ・農業法人における外国人材受入に係るセミナー等の開催、調査及び伴走支援(委託料) 4,050千円						
主なKPI	①常用労働者数（+6,594人） ②商品企画数（+15件） ③進出企業数及び新規企業数（+2社） ④新たに外国人材を雇用する経営体数（+9経営体）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seisaku/tihousousei-deziden.html (令和8年9～10月公表予定)

事業概要：食と木材の競争力向上に向けた生産基盤・販売力強化事業

新規

申請者	宮城県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	441,382千円 (222,372千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・大規模土地利用型農業経営体や園芸経営体、種子生産者、畜産農家等を対象として、スマート農業機械等の導入支援や実証試験を通じて食料生産基盤の強化を図る。 ・食品関連事業者の連携・マッチング・ビジネスアイデア創出・商品戦略強化支援、木材輸出拡大に向けたセミナーの開催等によりフード・ウッド産業の販売力を高める。 これらの取組を実施することで、本県の農林水産分野を、収益性が高く若者から選ばれる産業へと転換し、地方創生の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大規模土地利用型農業経営体や園芸経営体、種子生産者、畜産農家等を対象として、スマート農業機械等の導入支援や実証試験を行う。また、食品関連事業者の連携・マッチング・ビジネスアイデア創出・商品戦略強化支援等の販路開拓支援、木材輸出拡大に向けたセミナーの開催等PR支援事業を行う。					【生産基盤強化】 担い手減少や気候変動、収益性向上という課題に対応するため、デジタル技術を活用した「稼げる」生産体制への転換を促進	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○生産基盤強化 ・園芸作物の生産性向上等の支援（補助金、備品購入費、需用費、報償費、旅費、役務費、使用料）：115,689千円 ・水稻等の新品種導入に向けた体制整備（補助金等）：21,700千円 ・スマート農機の導入促進（需用費、報償費、補助金）：12,944千円 ○販売力強化 ・アイデア創出・商品販売戦略強化支援（委託費等）：33,946千円 ・木材輸出拡大に向けたセミナーの開催等（委託費、補助金）：9,149千円 ・販売や取引の拡大に向けた支援（委託費）：28,944千円					【販売力強化】 県産品の認知度向上という課題に対応するため、多様な事業者等と連携しながらマーケットインの発想に基づく商品開発や海外展開を推進	
一体的な取組みにより実施							
担い手の確保や所得向上、 地域活性化に高い効果を創出							
収益性が高く若者から選ばれる産業へと転換							
地方創生の実現！							
主なKPI	①地域における農林業算出額（+8千万円） ②大豆種子生産面積を増加した種子場（+3件） ③農林業における新たなビジネス数（+12件） ④80ha以上の土地利用型農業法人のスマート農機導入者数（5者）					URL	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seisaku/tihousousei-deziden.html
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(令和8年9～10月公表予定)
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値							

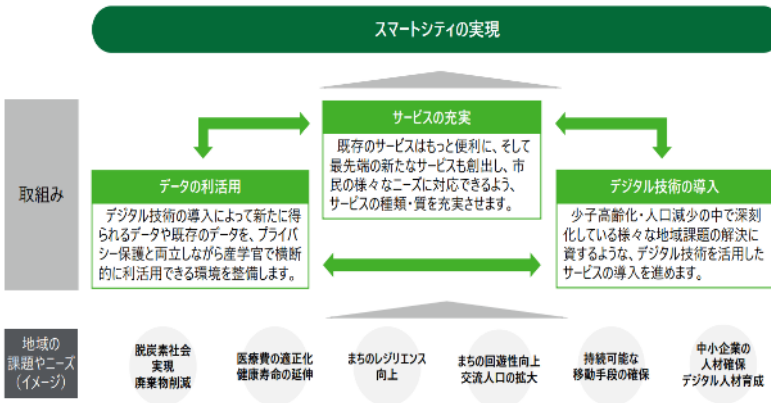
事業概要：若者・女性に訴求するくらし・しごとの魅力発信・向上プロジェクト

申請者	宮城県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	285,165千円 (97,349千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・首都圏の若者、女性にも訴求できる新たな情報発信手法の開発及びみやぎファンクラブの設立運営、地域づくり参画支援を通じてくらしの魅力発信を加速させ、若者・女性にも選ばれる地域を目指す。 ・我が県の基幹産業である一次産業において、就業の伴走支援や経営安定化に向けた支援等を通じたしごとの魅力発信、魅力向上に取り組み、県内就業者を増加させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若者、女性を対象とした新たな情報発信手法の開発及びみやぎファンクラブの設立運営、地域づくり参画支援を通じてくらしの魅力発信を加速させる。また、担い手不足が顕著である一次産業において、就業の伴走支援や経営安定化に向けた支援等を通じたしごとの魅力発信、魅力向上に取り組む。					課題 若者・女性の視点に立った魅力発信と関係構築の不足 対策 「しごと」の魅力向上 一体的に推進 「くらし」の魅力向上 目標 若者女性に選ばれる魅力的な地域社会の形成	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○「くらし」の魅力向上 ・ワークショップの開催、ファンクラブ設置準備（委託料）12,020千円 ・若者による地域参画支援（委託料、補助金）8,500千円 ・屋外遊び場での子どもの遊び支援(委託料) 8,150千円 ・海・山等の魅力を活かしたワークショップの開催（委託料）6,443千円 ○「しごと」の魅力向上 ・就農体験、技術習得支援、雇用型研修支援（委託料）8,156千円 ・中小農業者経営安定化支援(補助金) 5,000千円 ・水産業人材、経営体育成（委託料、補助金、事務費）23,792千円 ・林業人材の育成(委託料、補助金、事務費) 17,710千円 ・「農活コンシェルジュ」による伴走型支援や就農相談（補助金）7,578千円						
主なKPI	①常用労働者数（+322人） ②農林水産業における新規就業者数（+501人） ③県内における活動者数（FC会員）（+115人） ④「若い世代」コア人材数（+6人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seisaku/tihousousei-deziden.html (令和8年9～10月公表予定)

事業概要：「観光地域づくり」を核としたみやぎ誘客推進プロジェクト事業

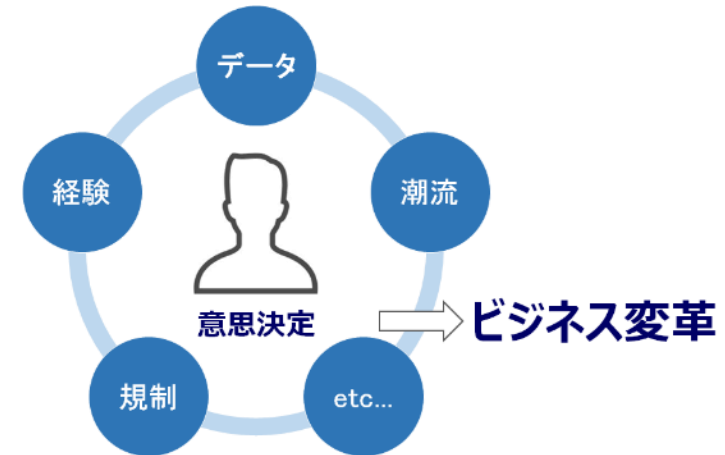
新規

申請者	宮城県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	751,443千円 (230,481千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・県内7圏域ごとの地域に根差した観光コンテンツの造成・磨き上げに取り組み、観光地域づくりを推進する。 ・欧米豪等海外からの誘客促進や国内客向けのプロモーションを実施し、観光地としての認知度向上を目指す。 これら事業を通じて、観光関連産業全体の付加価値向上や新規市場の開拓並びに地域経済の維持・拡大を図り、国内外からの宿泊・観光客のさらなる誘致促進を行う。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 2050年には本県の人口が2020年比で約21%減少する推計がなされているなかで、観光振興を通じた交流人口の拡大により、地域経済を維持・発展させていく必要がある。 一方で、各種統計調査等の結果から、本県では魅力的な観光コンテンツの不足や観光地としての認知度の低さが課題となっている。 これらの課題を解決するため、地域資源を生かした観光コンテンツの充実と、国内外からの認知度向上に向けたプロモーションを実施する。					 ・圏域ごとの観光コンテンツの造成・磨き上げ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・県地方機関が行う観光課題解決（委託料）70,000千円 ・OTAウェブサイトと連携したプロモーション（委託料）33,000千円 ・航空事業者等と連携したプロモーション（委託料等）9,881千円 ・新たな訪日教育旅行市場の開拓・誘致（委託料）17,600千円 ・国内向け大型観光プロモーション（委託料）40,000千円 ・インバウンド向けバスツアーの造成（委託料）30,000千円 ・バスツアーのプロモーション（委託料）30,000千円						
主なKPI	①観光消費額（+1,618億円） ②宿泊観光客数（+120万人泊） ③外国人観光客宿泊者数（+53.6万人泊） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seisaku/tihouseusei-deziden.html (令和8年9～10月公表予定)

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和４年度第１回募集	
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	364,077千円 （89,150千円）	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・スマートシティを実現することで、地域課題の解決を目指す。 ・市民が日々の暮らしの中でデジタル化による利便性や手ごたえを感じることで、住みやすい都市として選ばれるようになることを目指す。 ・仙台で構築したモデルを宮城、さらには東北へと展開し、東北全体の持続的発展につなげていく。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○データプラットフォームの運営 民間事業者によるデータの連携・利活用を図る。より活用価値のあるデータの整備や、データ連携基盤活用サービスの創出等を行う。 ○仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会運営 産官学連携により新たなサービス層の実証等を効果的に進める。 ○ユースケース創出事業 地域課題を解決するサービスを充実させるため、先端的なサービス・アプリ開発等を行う。オンライン診療カーの機能強化・広域実証を行う。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ・DATA SENDAIプラットフォームの運営 プラットフォーム運営支援業務・提供データ拡充費用（委託料） 8,250千円 データ連携基盤を活用したユースケース創出（委託料） 7,000千円 ・仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会運営 協議会運営（委託料） 30,500千円 ・ユースケース創出事業 複数のサービス・アプリ開発（負担金） 30,000千円 オンライン診療カーの機能強化・広域連携実証等（負担金）13,400千円							
主なKPI	①データを活用したサービスの実証・実装件数（+33件） ②本事業により創出したサービス登録者数（+3,650人） ③市民ポータルの利用者数（+4,300人） ④オンライン診療カーを利用した患者数（+1,178人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和８年７月頃公表予定	

事業概要：産学官連携で取り組むデータインフォームド型のビジネス変革推進事業

申請者	宮城県仙台市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	160,380千円 (55,460千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	企業による「データ利活用」の促進に加え、データ・経験・潮流など複合的要素を意思決定に活用するデータインフォームド型のビジネス変革を推進することで、地域企業の付加価値の高い新ビジネスの創出・既存事業の高度化を実現するとともに、データインフォームド型のビジネス変革を担える学生・若者の地元定着や流入を促し、地域全体の経済的発展を実現する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域企業を対象とした、データ利活用の重要性を学び、自社のビジネスに取り入れるためのセミナー・ワークショップの実施や、データ利活用のリテラシー向上に繋がるオンライン学習プログラムの提供のほか、地域企業によるAI等を活用した新規ビジネスの実証実験を支援し、地域企業の経済的発展を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○データインフォームドによる高付加価値ビジネス創出 ・データ利活用PBL（委託料） 10,460千円 ・ビジネス創出プログラム（委託料） 10,000千円 ・専門家による伴走支援（委託料） 10,000千円 ○データ利活用人材の創出・育成 ・教育プログラム（委託料） 7,000千円 ○モデルケース創出に向けた実証実験支援 ・実証実験に係る経費（委託料）12,000千円 ○経営層を中心としたネットワーク構築・戦略的情報発信 ・企業間ネットワーク構築事業（委託料）1,000千円 ・戦略的情報発信、戦略策定（委託料） 5,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+105人） ②データ利活用によるビジネス創出数（+90件） ③創出・育成されたデータ利活用人材人数（+660人） ④モデルケース創出に向けた実証実験数（+11件）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL
		令和8年7月頃公表予定	



事業概要：大阪・関西万博を契機とした地域連携による外国人旅行者の新規開拓プロジェクト

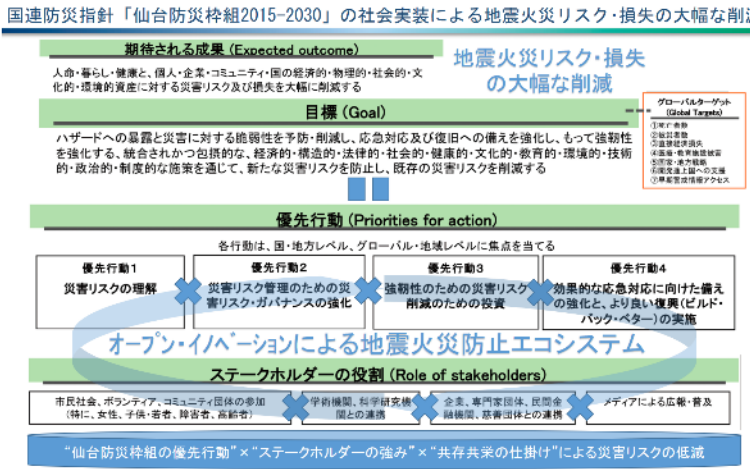
申請者	宮城県仙台市ほか 5 自治体					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	117,654千円 (29,016千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	年齢や心身の状態に関わらずその土地の魅力を感じることができる事業を実施することで、東北への興味関心や愛着を醸成し、誰ひとり取り残さない観光のあり方を検討するとともに、持続可能な観光地域づくりを目指す。 ・高機能な開発拠点を核に、伝統ある地域の特産品のブランド化を展開し、地場産業の付加価値向上を目指す。 ・地域全体で新たな販路開拓に向けたノウハウやネットワークを学び、地域課題である伝統産業の伝承や成長に繋げる。 ・海外企業とのビジネスを通じた外需獲得に向け販路開拓等を幅広く支援し、地域経済の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多言語対応ウェブサイトの構築・活用を通じた情報発信、バーチャル技術を活用した観光素材によるプロモーション、観光物産プロモーションの3つを軸に事業を実施する。本事業を通じ、インバウンド旅行者向けに旅マエ・旅ナカ双方でのプロモーションを行うことで、祭りのみに限らない、多彩な東北の魅力を発信する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○インバウンド向け情報発信事業 ・WEBサイト改修（多言語対応・掲載記事作成）、WEB広告（委託料）2,500千円 ・バーチャル技術を活用した情報発信（委託料）2,500千円 ○外国人旅行者及び国内在住外国人向け観光物産プロモーション事業 ・企画管理調整費（委託料）22,800千円、（消耗品費）200千円 ・トップセールスに係る経費（旅費）1,016千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①東北六県観光消費額（+1,758億円） ②インバウンド向けプロモーション接触者数（+32万人） ③インバウンド向けプロモーション実施回数（+3回） ④WEBサイトPV数（+27,765PV）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和 8 年 7 月頃公表予定

事業概要：産学官金民連携による地震火災防止イノベーション創出促進事業

継続

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	259,250千円 (84,750千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		

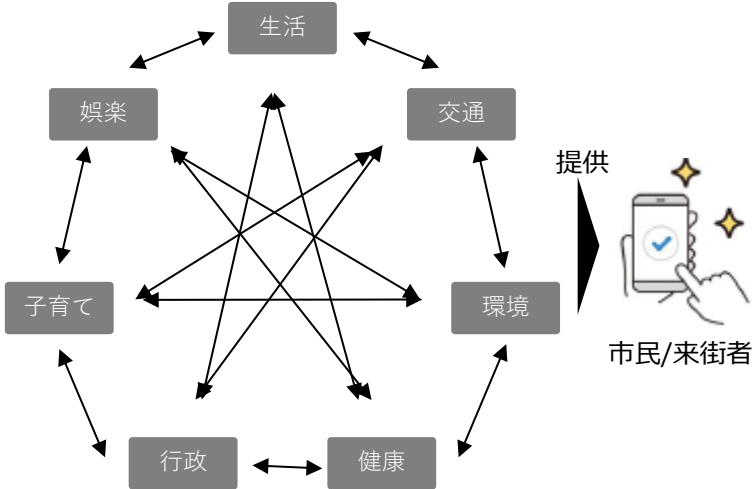
目的・効果	長町-利府線断層帯地震等による本市被害の大幅な削減を目的に、産学官金民連携による地震火災防止イノベーション・エコシステムを形成し、地震火災リスクの低減を図る。					
-------	---	--	--	--	--	--

事業概要・ 主な経費	【事業概要】 長町-利府線断層帯地震等により想定される災害リスク及び損失を大幅に削減するため、産学官金民連携組織（コンソーシアム）による「地震火災防止イノベーション・エコシステム」を形成し、仙台防災枠組の優先行動に資するソリューションの創出及び連携と、感震ブレーカー設置費用支援や、地震火災防止に係る行動変容の定着を図る。 併せて、産学官金民連携組織（コンソーシアム）による「地震火災防止イノベーション・プラットフォーム」をWEB上に構築し、全てのステークホルダーが地震火災防止に係る行動変容を主体的に推進する。 更には、取組実績を検証しながら、本事業を次世代の社会課題解決モデルとして、全国への展開を図る。					
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地震火災防止エコシステム形成に向けた産学官金民連携基盤の構築等 36,350千円 ・地震火災対策事業開発プログラム 10,950千円 ・地震火災防止イノベーション・プラットフォーム発信 5,000千円 ・感震ブレーカー設置促進に係る各種事務 業務委託 32,450千円					

主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 長町-利府線断層帯地震等で削減する死者・重傷者数（+255人） ② 長町-利府線断層帯地震等で削減する焼失棟数（+4,740棟） ③ 産学官金民連携による地震火災防止イノベーション事業創出件数（+45件） ④ 仙台防災枠組「優先行動1から4まで」が連環した本数（+23本）			URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月頃公表予定
---	--	--	--	---	-------------

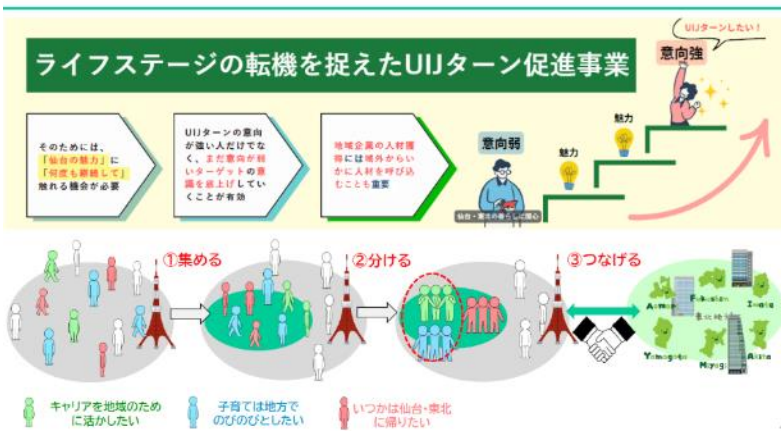
事業概要： Web3.0時代の地域と「仙台アルムナイ」との持続的なコミュニティ形成による新たな価値創出事業

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	100,000千円 (20,000千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	人口減少下における新たな地方創生モデル実現に向けて、地域と「仙台アルムナイ（仙台市に居住歴のある等の市外在住者）」とを繋ぐことの優位性を検証するとともに、まちづくりや企業活動をはじめ、仙台をフィールドに展開される様々な取り組みの中で、「仙台アルムナイ」の活躍の機会創出と付加価値創造を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市を含む地域一体的なコミュニティとして「仙台アルムナイ」（仙台市に居住経験があるなど、一定の要件を満たす域外在住者）との持続的な関係性を可視化しながら構築し、仙台をフィールドとした多様な主体による価値創造の取組みの中でそのポテンシャルを最大限活用することができる環境を構築することにより、人口減少局面にあってなお持続的発展が可能な新たな地方創生モデルの実現を図る。							
	【R8年度事業 経費内訳】 地域と「仙台アルムナイ」との関係性を活かした人材活用のありかたに関する検証・実証 ・事業全体管理、調査（机上・ヒアリング等）、効果検証等の事務局業務に係る人件費・旅費、実証経費等 20,000千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域交流人口数（+210名） ②地域と「仙台アルムナイ」との交流機会の件数（+12件） ③プラットフォームの活用・連携を通じた新たなプロジェクトやサービス（プロトタイプを含む）の件数（+6件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月頃公開予定	

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	200,000千円 (50,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	デジタル化の進展で働く場所を問わなくなった時代に、居住地として仙台市を選択してもらうため、デジタルとリアルを融合した事業を通し、生活に不可欠なサービスや自分のライフスタイルに合ったサービスが簡単に受けられる都市Full Digital SENDAIを実現する。ひいては、仙台市としての住みやすさを向上させ、人口減少の抑制を目指すとともに、地域の歴史や文化、強みに根差した多様な「ひと」の交流と活躍の場を創出し、魅力の向上や経済活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 共通UIをベースに生活に不可欠なサービスに対してSSO（シングルサインオン）を実施し、より簡単・手軽に利用できるよう環境を整備する。また、生活に不可欠なサービス間の利用者データの連携・分析・活用により、行動変容を促しながら街なかへの回遊を誘引する施策・機能の検討・実証を行い、それぞれのサービスの更なる利用促進のため、新たなインセンティブモデルを構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○SSOするサービスの実証・提供等 ・SSO機能実証・実装費用：15,000千円 ・生活に不可欠なサービス等のデータ連携・機能追加に係る設計・実証費用 10,000千円 ○周遊促進の施策・機能の実施・構築 ・周遊促進の施策・機能の実施・構築：15,000千円 ○インセンティブモデルの実証 ・実証費用：10,000千円						
主なKPI	①仙台市における人口減少数（+567人） ②「住みやすい理由」の「通勤・通学・買い物など生活が便利」の回答割合（+1.89%） ③SSOするサービスの実装件数（+6件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月頃公表予定

事業概要：ライフステージの転機を捉えたUIターン促進事業

継続

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	85,030千円 (31,140千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	首都圏在住で仙台・東北にゆかりのある20代半ば～30代の社会人を主なターゲットとし、仙台の仕事や暮らしについての情報発信を行うとともに、オンラインと首都圏でのリアルイベントの開催等を通じて、SNS等での母集団の形成を図ることで、本市へのUIターン転職・移住を促進する。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 動画メディアを立ち上げ、仙台の仕事や暮らしについての情報発信を行うほか、オンラインと首都圏でのリアルイベントを織り交ぜながら開催することで、SNS等での母集団の形成を図り、首都圏に点在しているUIターン関心層及びUIターン転職希望者を顕在化させる。 また、新たにUIターンウェルカム企業の見える化及びUIターン転職希望者と地域企業のオンライン面談を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ライフステージの転機を捉えたUIターン促進事業 ・委託料 31,140千円 (うち人件費8,162千円、動画製作費5,266千円、SNS等運営費3,857千円、WEBデザイン費979千円、イベント運営費8,371千円、オンラインカジュアル面談実施費3,085千円、UIターンウェルカム企業リスト化にかかる経費1,420千円)						
主なKPI	①宮城県移住支援事業に係る移住支援金を交付した者のうち本事業を契機に移住した者の件数 (+55人) ②本事業にて運営するSNSアカウントの登録者数 (+4,500人) ③本事業で開催するイベントの延べ参加者数 (+560人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月頃公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

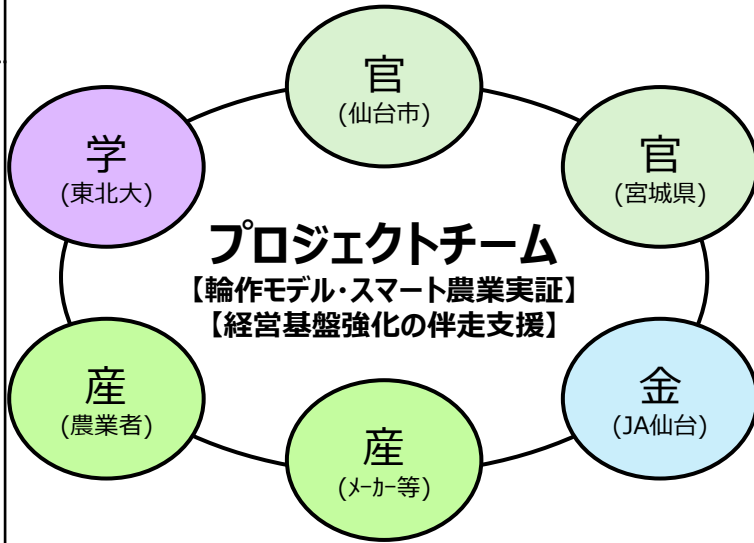
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：「国際経済都市・仙台」の実現に向けたスタートアップ創出加速化事業

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	171,600千円 (56,300千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	東北大学の国際卓越研究大学認定を変革期ととらえ、スタートアップ企業の経営経験等を有する人材を国内外から募集し、大学等の技術シーズを活用した事業立ち上げを加速させる。併せて、若者のための起業家人材の育成事業や、仙台で起業を目指す外国人に対する環境の構築と支援を実施し、多様な人材が活躍し、若い世代が挑戦できる地域社会の実現を促進させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・高専生、高校生を対象に、AIの分野でグローバルに活躍するスタートアップ経営者による講演やAIスキル習得のためのプログラムを実施する。 ・起業やスタートアップへの就職（インターン含む）に関心がある在仙外国人（留学生含む）向けに起業・就職をテーマにした講演会や交流会等を開催する。 ・スタートアップの経営経験等を有する人材を国内外から募集・採択し、起業意欲の高い研究者とのマッチングを図り、大学等の技術シーズを活用した新規事業の立ち上げを支援する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○次世代起業家等育成支援(高専生高校生テック・AI実践プログラム) ・運営費（委託料）4,580千円 ・会場費（委託料）100千円 ・外注費（委託料）320千円 ○外国人起業家輩出支援 ・運営費（委託料）10,300千円 ・通信費（委託料）200千円 ・備品費（委託料）300千円 ・会場費（委託料）1,500千円 ・外注費（委託料）1,500千円 ○技術シーズ・経営人材マッチング支援 ・運営費（委託料）20,000千円 ・会場費（委託料）4,000千円 ・外注費（委託料）10,000千円 ・消耗品費（委託料）3,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における起業家数（準備中含む）（+18件） ②次世代起業家等育成支援プログラム参加者数（+130人） ③外国人や留学生からの起業相談件数（+60件） ④在留資格（起業・就職）に係る相談対応件数（+50件） ⑤在仙外国人のコミュニティ参加者数（+900人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月頃公表予定

事業概要：農業経営ロールモデル構築事業

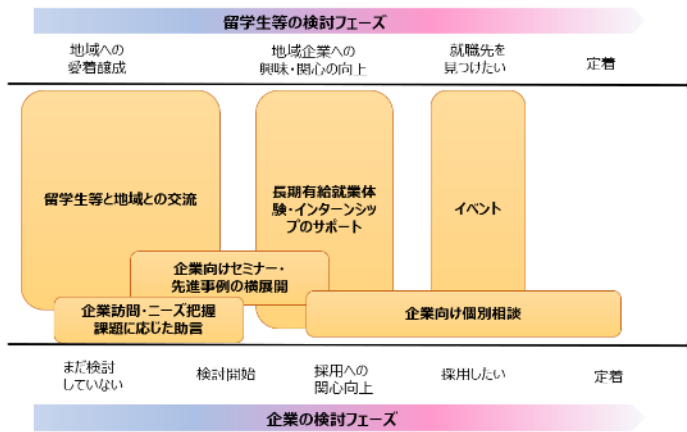
継続

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	116,343千円 (36,414千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	- 水田において、稲作の作付け前や収穫後に園芸作物や他の穀類を栽培する輪作体系の構築及びスマート農業技術の活用による実証により、効率的で収益性の高い持続可能な農業モデルの実現を目指す。 - 集落営農組織に対し、経営方針策定や事業継承、雇用環境整備等の伴走支援を行い、経営基盤の強化を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 生産環境が大きく異なる本市東部と西部の各地域において、生産性や効率性を高めるための輪作体系の構築に係るモデル実証を行う。また、実証に併せて、集落営農組織の組織力向上に向け、経営方針や事業継承、雇用環境整備等の経営改善につながる様々な伴走支援を行い、組織が安定経営できる基盤づくりを推進する。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○水田輪作モデル構築事業（委託料）18,371千円 プロジェクトチーム結成や事務局運営、栽培実証の実施、水田輪作体系のモデルケース構築、実証内容の普及等のための現地見学会や研修会などを実施する。 ○アグリ経営アドバイザー事業（委託料）5,282千円 集落営農組織に対してヒアリングを実施し、事業継承や人材確保等の経営課題の掘り下げを行い、経営変革や改善につながる様々な助言・指導を通して、組織が持続的に安定経営できる基盤を構築していくための伴走支援を行う。 ○農業経営体への人材確保支援事業（委託料）2,761千円 農業経営体において、若い世代や他産業からの人材を受け入れるための体制づくりを実践的に行うため、就農を試行的に体験するための「お試し就農」を実施する。 ○スマート農業機械等導入支援事業（補助金）10,000千円 有効性が確認されたモデルケースを導入しようとする農業経営体に、実施に必要な機械や作業機等の導入支援を行い、モデルケースの効率的な普及拡大を図る。							
主なKPI	①地域における農業出荷額（+197百万円） ②実証を行う農業経営体のうち付加価値額を拡大する経営体数(+3件) ③モデルケースとして実用化に至る輪作体系件数(+3件) ④有効なモデルケースに取り組むためにスマート農業機械を導入する農業経営体数(+9件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月頃公表予定	

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,402,972千円 (1,726,760千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・本市ならではの特色あるコンテンツを発信し、国内・海外問わず観光客に選ばれる街づくりを行い、魅力的で活力のある持続可能な観光都市を目指す。 ・仙台への国内外からの来訪者数増加・滞在時間延長・観光消費額増加により、東北全体の周遊促進し、観光を基軸とした地域経済の活性化と持続的な成長を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 国内外に向けた認知向上と誘客促進を図るため、情報サイトの機能強化やSNS発信の強化を行い、認知から予約・来訪までの観光動線を整備する。併せて、地域ならではの観光コンテンツの創出に向けたブラッシュアップ等により、各エリアを活性化し、多様なニーズに対応する観光資源を形成・発信する。また、秋保大滝周辺エリアでは、滝見台と植物園との一体的整備を進める。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・国内外観光客向けの情報発信体制の整備（委託料等）：347,621千円 ・多様なニーズに対応する観光資源の形成（負担金等）：503,789千円 ・持続可能な事業運営に資する事業者支援（補助金等）：98,850千円 ○拠点整備事業 ・滝見台、植物園園路設備整備工事：776,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内観光消費額（+78,853百万円） ②東北6県における延べ観光客入込数（+3,822万人） ③仙台観光情報サイトアクセス数（+92万PV） ④海浜エリアに3時間以上滞在する人の割合（+15%） ⑤秋保地区における年間宿泊者数（+13万人泊） ⑥秋保大滝周辺エリア年間来訪者数の前年比増加率（+50%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月頃公表予定

事業概要：仙台市外国人留学生等活躍推進事業

新規

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	94,809千円 (27,978千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	仙台市に集まる留学生や研究者、またその帯同家族（以下「留学生等」）に対して地域と交流する機会を創出し地域への愛着を醸成するとともに、地域企業の外国人材採用に関するノウハウ獲得を進めることで、留学生等の多様な知識・経験を新事業やサービス創出による付加価値向上、新市場開拓や地域の活性化につなげ、多様な人材が活躍し、持続的に発展する地域社会の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 留学生等と地域ニーズをマッチングする仕組みを構築し、留学生等の経験やスキルを地域で生かす機会を創出する。また、地域企業に対して、外国人材採用に関するセミナーや個別相談会の実施、課題整理や企業の検討フェーズに応じた伴走支援、インターンシップのプログラム作成及びマッチング支援、企業の魅力を伝えるイベント等を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・留学生等と地域との交流の実施（委託料）7,500千円 ・留学生等への情報発信、企業訪問によるニーズ把握、長期有給就業体験・インターンシップ、交流イベント等の実施（委託料）18,978千円 ・企業向けセミナー・個別相談会の実施（補助金）1,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本市における生産年齢人口の減少数（+ 155人） ②留学生等と地域企業・団体等の交流に係るマッチング件数（+ 24件） ③本事業で開催する企業向けセミナーの延べ参加企業数（+ 30社） ④個別支援企業数（+ 20社） ⑤長期有給就業体験・インターンシップ受入れ企業数（+ 15社） ⑥留学生向けイベントの参加者数（+ 200人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和 8 年 7 月頃公表予定

事業概要：重点産業スタートアップ誘致・実証支援事業

新規

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	93,000千円 (18,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	域外からの大学発スタートアップの呼び込みを進め、産業ごとのクラスターを形成することで、同じような課題や悩みを抱えるスタートアップの経営者の交流や、ノウハウやネットワークの共有が図られ、大学発スタートアップが仙台・東北に根ざして成長し、国内外の市場開拓へ挑戦できる環境の構築、及び仙台・東北に住まう若者にとって魅力的な仕事、働く場の創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 東北大学が強みを持つライフサイエンス・ヘルスケア、環境・マテリアル及びアグリテック、マテリアル分野の域外スタートアップに対して、専門家による伴走支援を通じ、ニーズヒアリング・誘致プロモーション(3社の新規支援を想定)、スタートアップの実証伴走支援（販路開拓支援、実証フィールド・共同研究環境構築支援、事業成長に向けた戦略作成支援等）を行う。					【スキーム】 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・委託料：18,000千円 （内訳）事務局運営 12,000千円/外注費（広報、イベント運営等） 5,000千円/ イベント会場等使用料 1,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①支援を行ったスタートアップによる雇用創出による若者(20～24歳層)の市外転出者数の減少数（▲600人） ②支援を行ったスタートアップによる雇用創出数（+12人） ③本市への域外スタートアップの拠点開設数（+9社） ④本事業を通じた仙台・東北スタートアップ・エコシステム・コンソーシアムの会員等と連携した実証の実施件数（+30件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月頃公開予定

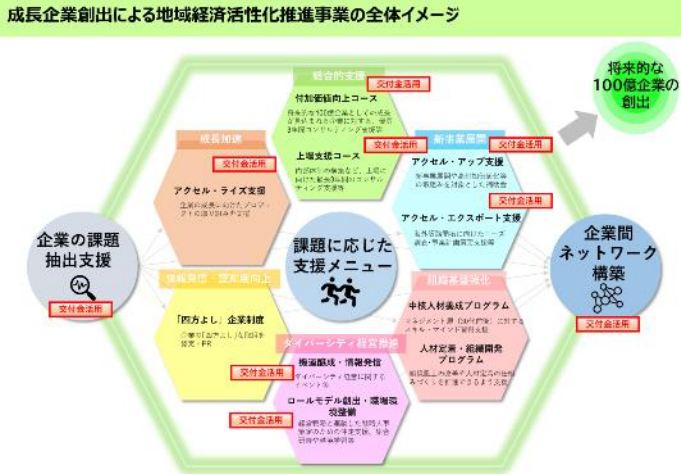
事業概要：「まちなか実証ラボ」及び「オープンイノベーション共創・協業支援」事業

新規

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	108,050千円 (28,050千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・市内で集積が進む大学発スタートアップが有する技術やアイデアを、実証やオープンイノベーションの取組を通じて磨き上げ、事業として成立させていくプロセスを支援することで、産学官の取組みにより集積したスタートアップの持続的な成長を促す。 ・先端研究から起業、成長、地域定着、社会実装までが地域内で連続的に展開されるイノベーションエコシステムを構築することで、地方から新たな産業と雇用を創出し、地域経済の発展を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 実証支援事業（まちなか実証ラボ支援事業）では、大学発スタートアップが行う市民参加型実証を、企画検討から利害関係者調整、広報まで包括的に支援する。また、オープンイノベーション共創・協業支援事業では、大学発スタートアップを成長フェーズや技術特性に応じてニーズ整理から協業先の探索、協業開始までを戦略的に支援する。併せて、大学発スタートアップ、地元企業、大企業等で構成される共創・協業コミュニティを構築する。					仙台市では研究環境の整備が進み、都心に大学発スタートアップの集積が進む 仙台市 研究拠点整備 東北大学 人材輩出 ナノテラス 先端研究 課題 実証環境不足 共創・協業機会の不足 交付対象事業 実証支援事業 連携 まちなか実証ラボ 都心部商店街の空きテナントを活用し、市民参加型実証を企画から広報まで一体支援 製品・サービスの完成度向上や事業化の加速 + 商店街の活性化 オープンイノベーション共創・協業支援事業 伴走支援事業 成長フェーズ・技術特性に応じ、協業ニーズ整理から協業開始までを戦略的に支援 コミュニティ形成 大学発スタートアップ、地元企業、大企業等で構成するコミュニティを構築しネットワークや知見の共有を促進 連携 スタートアップの継続的な成長を支える共創環境の形成 起業から社会実装まで展開されるイノベーションエコシステムを構築	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・まちなか実証ラボ企画・運営・管理 関係者調整、ラボ立上げ・運営(委託料) 6,000千円 ・実証事業者の探索・企画コーディネート及びそのPR 事業者選定、実証設計・実施支援、商店街調整(委託料) 10,500千円 ・オープンイノベーション共創・協業支援事業 協業開始支援、コミュニティ立上げ・運営、イベント開催等(委託料) 11,550千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業参画企業の新規雇用者数（+225人） ②「まちなか実証ラボ」を活用した実証件数（+12件） ③共創・協業開始数（+45件） ④イノベーション・コミュニティの参画企業数（+150社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月頃公表予定

事業概要：成長企業創出による地域経済活性化推進事業

新規

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	851,031千円 (134,770千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・「支店経済構造」「若年層流出」「成長企業の不足」等の構造的課題を踏まえ、“攻め”の支援（※）で市内中小企業の稼ぐ力を底上げし、成長企業創出を図る。 ・本質的な課題抽出→重層的支援→企業間ネットワーク構築による支援、の三段階支援により、売上拡大・生産性向上・人材確保等を一体的に支援することで、地域経済の維持及び拡大を実現させる。 ※“攻め”の支援…成長志向の高い企業に重点的に支援し、規模拡大を通じて地域経済を押し上げる“成長加速型”の支援						
事業概要・主な経費	【事業概要】 企業の成長に向けた課題の抽出や分析等を民間コンサルタントに委託するほか、成長意欲の高い企業に対しては3年間の伴走支援（総合的コンサル、マインドセット研修、現場改善、成長投資を促す補助金）を一体的に行う。また、企業・金融機関・支援者・他自治体等を対象とした交流イベントの実施等により、企業間ネットワークを構築する。 【R8年度事業 経費内訳】 ・専門家による課題分析支援（委託料）：10,000千円 ・将来的な100億企業輩出に向けた伴走コンサル支援、新事業展開に取り組む企業への補助金等の総合的支援（委託料、補助金等）：120,770千円 ・企業間ネットワークを通じた支援（委託料）：4,000千円					成長企業創出による地域経済活性化推進事業の全体イメージ 	
主なKPI	①市内総生産（実質）の増加（+87億7700万円） ②成長志向企業の増加（+27.7%） ③付加価値向上コース活用企業における付加価値増加額（+24億3575万円） ④100億達成企業社数（+28社） ⑤支援メニューの重層活用社数（+20社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月頃公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

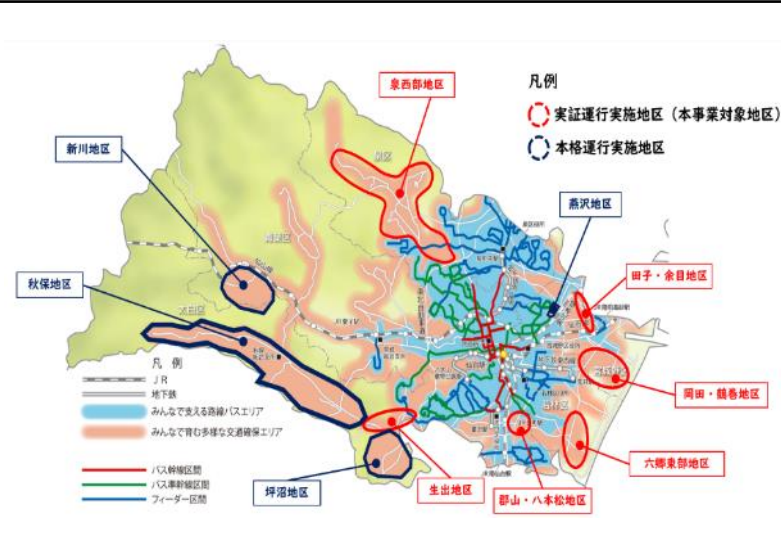
事業概要：アートによる定禅寺通魅力創出事業

新規

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	175,040千円 (81,040千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	定禅寺通は、本市のシンボルロードであり、文化芸術活動の舞台としてのイメージを有する一方、近年は駅前エリアへの人流集中により活力低下が懸念されている。このため、再整備方針に基づく歩道拡幅等による「ひと中心の空間」への転換を契機に、視覚芸術や障害者アート等の新たな文化芸術活動を展開し、文化芸術の舞台としての価値向上と、多様な市民が交流し共生する環境の形成を図る。本取組により、定禅寺通の文化的魅力を向上させ、多様な市民や来訪者が活動する場とすることで、再整備終了後の定禅寺通エリアの交流人口拡大・地域経済の活性化を実現する。また、障害者アートの取り組みにより、障害への理解や障害のある方の社会参加の機会増加につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 エリア内で展開する大型アート展示や市内のアーティスト育成や、地域へのアートの長期的定着を目的とした地域密着型プロジェクト、ワークショップ等を通じて市民参加とアート人材の育成を進めるほか、障害者アート展示やストリートファニチャーのコンペ実施により、多様な主体が関わり市内外から多くの人々が訪れる魅力的な都市空間を創出する。					 (定禅寺通)	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域密着型プロジェクト企画・監修・制作費（ワークショップ含む）：16,700千円 ・大型プロジェクト企画・監修：23,000千円 ・テンポラリーアーキテクチャープロジェクト企画準備費：1,000千円 ・障害者アートプロジェクト実施費：18,000千円 ・大型アート作品施工費：22,340千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①仙台市観光統計基礎データにおける観光客入込数（+9%） ②定禅寺通に接続する商店街の通行量（+2%） ③ワークショップ実施数（+6回） ④スタンプラリーの景品交換件数（+1.6倍） ⑤障害者アートのアンケートで『障害理解が進んだ』とする人の割合（+4%） ⑥地下鉄南北線勾当台公園駅乗車人員（+11%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月頃公表予定

事業概要：地域交通運行確保・運行支援対策事業

新規

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	101,324千円 (101,324千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	乗合タクシー事業により、地域課題である「交通空白」地域を解消するとともに、運転免許証返納等により移動の選択肢が少なくなる高齢者等の移動手段の確保に係る施策を地域と連携して行い、地域雇用や域内消費の循環を生み出すことで、「持続可能なまち」の形成を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 持続可能な地域の足の確保に向け検討を進めている、本事業の主体となる地域組織に対し財政的・技術的支援を行い、協働で乗合タクシーを導入する。令和8年度に新たに「泉西部地区」の実証運行を開始するとともに、本格運行地区以外（生出、六郷東部、田子・余目、岡田・鶴巻、郡山・八本松地区）は、令和7年度の運行実施において把握した新たな課題の解消に向け、その改善を図った運行を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域交通支援専門家派遣（委託料）56,144千円 運行内容のデータ収集・分析・検証を行い、次年度以降の適切な運行計画の策定等を委託。 ・地域交通支援事業費補助（補助金）45,180千円 地域組織が主体的に行う乗合タクシー事業を財政的に支援する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①「交通空白」地域の人口（▲2,922人） ②「交通空白」地域の面積（▲8.34㎡） ③本市全地区における地域交通年間利用者数（+399人/年） ④対象6地区における目標収支率達成地区数（+1地区） ⑤対象6地区における高齢者等の外出機会創出による消費額（+1,863万円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月頃公表予定

事業概要：地域資源を活用した次世代を担うこどもへの多様な遊びや体験機会の創出事業

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	6,484,116千円 (132,026千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・地域資源を最大限にいかし、こどもの多様な遊びや体験機会を創出し、子育て世帯から選ばれる持続可能で活力あるまちづくりを進める。 ・屋内遊び場の整備は、子育て施策に留まらず、来訪者や交流人口の増加を地域消費の拡大につなげ、地域経済の活性化を図る。 ・周辺の文化施設や商業地域との連携により、周辺エリアの回遊性や滞在性を高め、交流人口の拡大につなげるエリア形成を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域資源の掘り起こしを行い、こどもに遊びや文化芸術等の体験の機会を提供するソフト事業を展開する。また、子育て家庭のニーズに応える屋内遊び場を整備し、施設を核としたこどもの多様な遊び・体験機会を創出する。加えて、子育て家庭をターゲットとした地元企業の販路開拓により地域経済への波及効果を生み出すほか、文化施設や商業地域に隣接する立地特性をいかし、多様な主体との連携を図りながら、回遊・滞在型のエリアを形成する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・魅力向上に資する地域資源の掘り起こし、事業展開・計画 こどもの遊びを通じた地域の魅力創出事業（委託料等）18,446千円 屋内遊び場を拠点としたエリアの魅力創出事業（委託料等）17,916千円 こどもの文化芸術体験機会創出事業（委託料等）7,254千円 ○インフラ整備事業 ・回遊・滞在型のエリア形成 都市公園等事業（広瀬川河川緑地）50,650千円 都市公園等事業（西公園）37,760千円						
主なKPI	①若年層人口（20歳～39歳）の転出入者数（+420人） ②笑顔咲く子どもプロジェクトに対する市民の評価（+0.2点） ③屋内遊び場の年間来場者数（+27万人） ④屋内遊び場利用者の周辺回遊率（+20%） ⑤屋内遊び場における地元企業と連携した取組日数（+100日） ⑥遊び場展開及び文化芸術体験アウトリーチ事業への実施回数（+80回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月頃公表予定
	※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						

URL

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：二地域居住を核とした持続可能な住まい・なりわい・交流循環創出事業

申請者	宮城県石巻市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	239,049千円 (51,091千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	交流人口の拡大を入口として関係人口及び二地域居住者を創出し、地域産業への参画を促進することで、担い手不足及び労働力不足の補完を図る。あわせて、空き家等を活用した滞在拠点の整備を通じ、都市部人材の受入環境を構築する。これにより、地域内消費及び投資の誘発を促進し、人口減少局面においても地域経済活動の維持につなげる。さらに、地域活動への参画を通じ持続可能な地域運営体制の形成を図る。滞在・体験・就業・居住の各段階を一体的に支援する仕組みを構築することで付加価値を生み出し続ける持続可能な地域経済モデルの実現を目指すものである。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 交流人口の拡大を図るため、地域資源を活用した体験プログラムの造成・実施や関係人口創出に向けた情報発信の強化を行う。あわせて、二地域居住者及び関係人口の地域産業への参画を促進するため、副業・兼業人材の活用や地域事業者とのマッチング支援を実施する。また、空き家や既存住宅ストックを活用した滞在拠点の整備を進め、中長期滞在及び就業活動が可能な受入環境を構築する。さらに、AIサイト等を活用した相談・情報提供機能を整備し、交流から居住・就業への移行を一体的に支援する。					空き家を活用した滞在拠点 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地方創生推進アドバイザーの選任（報償費等） 1,140千円 ・相談窓口設置業務委託料（委託料） 10,373千円 ・AIサイト構築・運営（委託料） 33,000千円 ・デジタルバスガイドマップ作成（委託料） 2,178千円 ・公営住宅の空き住戸を活用した体験施設整備（備品購入） 1,400千円 ・二地域居住拠点（コワーキングスペース）整備（補助金） 3,000千円					林業体験 漁業体験 農業体験 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①交流人口（+30万人） ②法人市民税調定額（±0円） ③空き家・空き住戸再生数（+11戸） ④AIサイト閲覧数（90,000PV）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公開予定

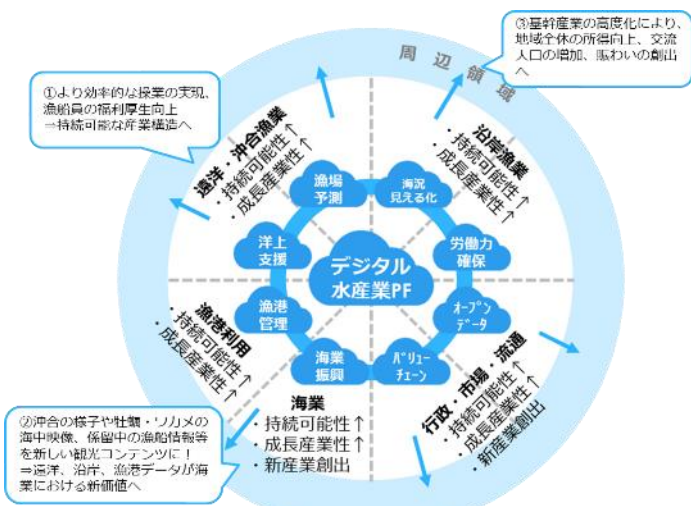
事業概要： ～復興から創生へ～ 2つの100人市民会議を通じた

「人口減少対策」と「持続可能な社会構築」の推進

継続

申請者	宮城県気仙沼市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	645,404千円 (181,469千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	市民それぞれ100名から構成される2つの市民会議（「人口減少対策市民会議」、「持続可能な社会の構築市民会議」）の立ち上げを軸として、現在の取組の共有を行うとともに課題を市民全体で幅広く議論し、市民や地域、企業、行政など様々な主体がそれぞれの分野における取組を推進することで、「人口減少の緩和と改善」につなげていくとともに、本市ならではの豊かさを次世代につなげ「持続可能な社会」の構築を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 2つの市民会議を開催し、市民・地域・事業者・行政が「人口減少の緩和と改善」と「持続可能な社会の構築」に関する現状と課題を共有し、各主体が理想の姿について話し合い解決のための方策を考え、市全体の行動指針としてアクションプランを策定する。また、そのアクションプランに応じて、市民・地域・企業が課題解決のための取組を実践する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・けせんぬまWell-beingプラン推進事業（委託料等） 5,412千円 各施策の進捗を確認するとともに、次年度以降のプランの見直し・検討を行う。 ・気仙沼市ジェンダーギャップ解消等推進事業（委託料等） 7,012千円 女性従業員向けワークショップや市民向け勉強会等の事業を実施する。 ・気仙沼サステナブルシティ推進事業（委託料・補助金等） 22,000千円 市民・企業・団体・行政の取組を共有する場としての市民会議全体会を開催するほか、「気仙沼サステナブルシティ推進プラン」に掲載された取組を実施する市内団体等に対する支援を行う。						
主なKPI	①本事業を通じて市内に就職した人数（+122人） ②雇用環境改善に取り組む企業の数（+29社） ③本事業を通じた人材育成人数（デジタル人材、経営人材、コーディネーター、まちづくり人材等）（+172人） ④市民会議・関連する会議の参加者数（+200人）					URL	https://www.kesennuma.miyagi.jp/li/shisei/060/090/index.html https://www.kesennuma.miyagi.jp/se/c/s022/20230509110155.html

気仙沼の実現～

申請者	宮城県気仙沼市					初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	497,356千円 (232,368千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	デジタル化によって、本市基幹産業である漁業・水産業が抱える不確実性を軽減し、持続可能な産業構造の実現、成長産業化、新産業の創出による地域活性化を図り、水産庁選定の「デジタル水産業戦略拠点」として、全国のロールモデルとなるデジタル水産都市の実現を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタル水産業戦略拠点構想の実現に向け、本市の漁業・水産業を構成する「遠洋・沖合漁業」「沿岸・養殖漁業」「海業」「漁港」「魚市場・流通・行政」の5つ領域に分け、各領域別にデジタル化を推進し、各々の生産性を高度化する。また、各領域における水産データを収集・蓄積する共通のプラットフォームと、共有・連携できるネットワークを構築する中で、成長産業化に繋げる。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ・海業の情報発信と新たな海業コンテンツの創造（委託料）39,500千円 ・漁港管理のDX化（委託料）25,000千円 ・水産データのプラットフォーム（委託料）35,000千円 ・水産バリューチェーンの構築（委託料）21,000千円 ・デジタル水産業戦略プラットフォームの開発（委託料）45,000千円 ・デジタル水産業戦略拠点の推進組織の開催・運営（報償費等）26,054千円 等							
主なKPI	①地域における農林水産出荷額（+300億円） ②水産DXに参画した漁業者・事業者の数（+330事業者） ③市内デジタル人材育成数（+680人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.kesennuma.miyagi.jp/se/s022/20230509110155.html https://fishery-dx.jp/	

事業概要：森・海・街 リアスの地域資源を活用した「人と物が集まる結節点づくりプロジェクト」 地域の魅力発信と交流促進事業

継続

申請者	宮城県気仙沼市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,061,373千円 (68,849千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	市民の望むより良いサードプレイスの構築を移転する庁舎を前提に検討するとともに、参加者の活動を情報発信することより、建設時の安定的な運営に繋がり、結果として人口減少の鈍化や市街地の低密度化など地方創生の課題の解決へ繋がることを期待できる。本事業は、市役所庁舎跡地を官民が連携して、本地区の魅力を最大限に引き出した人と物が集まる結節点を作り出すことで、生活環境の改善や地域経済の活性化、コミュニティの絆が深まることを目指すものである。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 令和9年度市役所庁舎移転後の、庁舎跡地・跡施設の活用に向けて、活用の核となる施設として「おもちゃ美術館」を定め、おもちゃ美術館及び多世代交流施設として活用する「ワン・テン庁舎」並びに、本庁舎・第二庁舎等を解体後に整備する「広場」を統一したコンセプトで整備するため、基本構想の策定と基本背設計を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・庁舎跡地・跡施設の活用に向けたワン・テン庁舎・広場等の基本構想を策定 ○拠点整備事業 ・気仙沼おもちゃ美術館及び市役所本庁舎等解体後の市民広場整備の基本設計の実施 (委託料) 計 68,849千円						
主なKPI	①気仙沼市全体の年間転入超過数 (+96人) ②産業・子育て・福祉関係検討・参画者・団体数 (+17人・団体) ③広報HP閲覧回数 (+12,000回)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.kesennuma.miyagi.jp/sec/s097/010/20230627172213.htm https://www.kesennuma.miyagi.jp/sec/s022/20230509110155.html

事業概要： ～稼ぐ力で未来を拓く～ 産業立市実現事業

新規

申請者	宮城県気仙沼市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	409,695千円 (121,983千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少や少子高齢化が進行するなか、将来にわたり持続可能な地域経済を実現するため、大都市近郊のベッドタウンとは異なり、本市においては自力で「稼ぐ力」を維持・強化していくことが重要であることから、産業を基軸とする「産業立市」の理念を明確に打ち出し、政府が掲げる「地方創生2.0」の考え方と連動しながら、「付加価値創出型の新しい地方経済の創生」を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市産業構造の脆弱性に対して、持続可能な地域経済を実現するため、生産性や競争力向上等の産業基盤強化・高付加価値化に向けた支援、女性や外国人等の産業立市を支える多様な人材向けの研修や人材バンク設置、中長期的な観光戦略の再構築による観光資源高付加価値化・インバウンド市場を目指した戦略商品の設計・検証等を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・市内企業生産性向上及び効率化事業（委託料等） 8,149千円 ・新商品等開発支援事業（委託料等） 31,000千円 ・女性デジタルキャリア創造事業（委託料等） 15,000千円 ・外国人材等支援事業（委託料等） 17,856千円 ・観光資源高付加価値化・インバウンド市場拡大事業（補助金） 49,978千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①付加価値額の増加率（+9%） ②労働生産性上昇率（+9%） ③事業者とデジタルスキル人材のマッチング件数（+36件） ④育成就労・特定技能1～2号の外国人労働者数の増加率（+30%） ⑤観光消費額成長率（+15%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.kesennuma.miyagi.jp/sec/s072/100/sangyoupac_kage.html

事業概要：しろいしの魅力発信・地域と文化の交流による新たな価値を創造する地域防災拠点 道の駅しろいし整備事業

継続

申請者	宮城県白石市					初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,020,688千円 (1,678,036千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	多くの観光客が集中する主要地点が近隣市町村に存在するものの、本市への周遊が限定的になっていることから、スマートインターチェンジの事業化を契機に南東北の「ヒト」「モノ」「カネ」が行き交う交流拠点として、新たに産直、物販、レストラン等の機能をもった「道の駅」を整備し、本施設を出発点とした新たな周遊ルートの形成や本市の観光資源の磨き上げと積極的な情報発信等を進めることにより、観光振興や産業振興、地元雇用の創出、地域活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 新たに整備する（仮称）白石中央スマートインターチェンジの隣接地に道の駅を整備する。また、道の駅には、観光客をターゲットとした産直や物販施設のほか、多目的交流施設や子育て支援施設、道の駅広場を整備し、各施設を相互に利用し合うことで、道の駅の利用者数増加を図る。さらに、災害発生時には、道路利用者や周辺住民の一時的な避難場所となることから、防災拠点機能もあわせて整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・道の駅建築工事 712,698千円 ・モニタリング業務 9,724千円 ○インフラ整備事業 ・都市再生整備計画事業 955,614千円 多目的交流施設、情報発信施設、子育て支援施設、防災備蓄倉庫等を整備						
主なKPI	①観光消費額（+32億2,300万円） ②道の駅の年間利用者数（+140万1,900人） ③道の駅の年間売上高（+7億8,820万円） ④観光客入込数（+174万4,000人） ⑤デジタルスタンプラリー参加人数（+1,900人） ⑥子育て支援施設利用者数（+5万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和8年7月公表予定 （効果検証） https://www.city.shiroishi.miyagi.jp/soshiki/6/25289.html

事業概要：なとりスーパーキッズ育成プロジェクト

継続

申請者	宮城県名取市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	162,741千円 (38,109千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	スケートボード競技の育成プログラム提供やレベルの高い独自大会の開催により、全国的な本市の知名度向上、交流人口・関係人口を拡大することで、子どもたちの夢をサポートしながら子育てができる「子育て・教育先進地」としてプロモーションを行い、子育て世帯の移住・定住促進を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 名取市サイクルスポーツセンター内にあるスケートボードパークを活用し、スケートボード競技の将来日本を代表するトップアスリートを目指す「なとりスーパーキッズ」に認定された児童向けに育成プログラムを提供するとともに、「Natori Cup」と題した独自大会を開催する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・育成プログラム提供、プロモーションに係る経費 27,109千円 ・Natori Cup開催経費 11,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①子育て世帯の移住者の増（+19世帯） ②年少人口（15歳未満）（+701人） ③Natori Cup参加者数（+220人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（特設サイト） https://natori-superkids.jp/ （効果検証） https://www.city.natori.miyagi.jp/page/24671.html

申請者	宮城県名取市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	338,272千円 (64,595千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	デジタル技術を活用し、住み続けたいと思える利便性の高い生活環境の提供、住民参画の仕組みづくりによる市民意識の醸成、地域企業の魅力向上による市内で居住し就業し続けられる環境の整備、オープンデータや住民の声などさまざまなデータを活用し、施策推進に反映する仕組みづくりを行う。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・市内加盟店で利用できるデジタル地域通貨を導入し、本市施策・アンケート等の参加インセンティブとしてのポイント付与や、ボランティア活動に参加した際の謝礼として活用。 ・デマンド交通、デジタル地域通貨等のアプリやホームページ等のほか、アンケート調査や住民の意見抽出の場を集約したポータルアプリを導入。 ・地域住民や事業者が参画して地域課題の抽出・解決策の検討を行う「なとり共創ラボ」運営の推進。 ・地域DX施策、デジタルデバйд対策の実施。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・「なとり共創ラボ」運営委託料 22,000千円 ・ポータルアプリシステム利用料、機能改修委託料 19,301千円 ・デジタル地域通貨システム実証費用 17,243千円 ・高齢者向けスマホ個別相談実施費用 6,051千円						
主なKPI	①なとり共創ラボに参加する住民数（延べ人数）（+4,525人） ②スマートシティアプリの累計ダウンロード数（+10,400DL） ③デジタル地域通貨決済金額（累計）（+3億9956万5千円） ④本施策に関する利用者満足度（+3.25点）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.natori.miyagi.jp/page/4113.html （効果検証） https://www.city.natori.miyagi.jp/page/24671.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：台湾における観光・産業交流促進事業

継続

申請者	宮城県名取市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	17,850千円 (7,750 千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・台湾における名取市の観光・産業に対するニーズについて市場調査を徹底して行うことで、インバウンド需要に合った魅力的な観光コンテンツや海外向けの特産品の開発に繋げる。 ・台湾一般消費者向けのイベントに参加することで現地に直接に名取市の観光・特産品のPRを行いながら、現地の旅行会社等とのコネクションを築く。また、迅速なインバウンド受入モニターツアーの造成・実施にも繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①令和7年度に実施した市場調査結果を踏まえ、市内事業者への活用促進を行い、インバウンド向けの観光コンテンツ（ツアー・地場産品）の造成、プロモーション、販売まで支援を行う。 ②市内の民間企業と連携しながら台湾台北市内の一般消費者向けPRイベント「日本東北遊楽日」に参加する。市内企業（特に①の事業者と連動させることが理想）の商品サービスのブース出展やパンフレットの配布等を通じて、名取市の観光や特産品をPRする。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○観光コンテンツ（インバウンドツアー含む）や特産品の開発・PRに伴う経費 2,600千円 ○台北市で開催される一般消費者向けのPRイベント「日本東北遊楽日」への参加及び観光コンテンツや特産品のPR費 5,150千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業に係るインバウンド消費金額（+23万円） ②新規観光コンテンツ・海外向け特産品の開発件数（+8件） ③海外輸出件数（+3件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.natori.miyagi.jp/page/43047.html (効果検証) 令和8年8月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：名取市 未来へつなぐ 山のみち整備事業

継続

申請者	宮城県名取市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	24,000千円 (15,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 観光拠点が集中する沿岸部から丘陵部への観光誘客やインバウンドの引き込みを行うため、海外からも注目を集める「みちのく潮風トレイル」を活用し、複線ルートとして丘陵部に新たなウォーキングコースの開発を行い、多様な地域資源のマネタイズを見込む。また、宮城オルレの認定も目指しており、ブランド力の向上を図る。 - 卒業後に市外に流出する若者世代が参画することで、郷土愛を育み定住を促す効果も見込める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 - 本格的なルート整備 令和7年度に確定したルートを踏まえ、案内看板の設置や木製チップの埋め込み等により、ウォーキングコースを造成する。 - シンポジウムの開催（継続） プロモーションの手段の1つとして、引き続きシンポジウムを開催する。オンライン・オフラインでの広報により地域の関心を高める。 - 市場調査 観光客入込数の把握に努めるとともに、オルレの認定を行う韓国（済州）へのトップセールスを通じた現地の情報収集や関係構築等を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 - ルート整備事業 12,000千円 - シンポジウム開催 1,000千円 - 市場調査実施事業（国内・国外） 2,000千円						
主なKPI	①観光消費額 名取市（+3.9億円） ②年齢階級別「15～19歳→20～24歳」の純増減数（+300人） ③山手観光施設の観光客数（+19,500人） ④複線ルート整備に係る意見交換会参加者数（+90人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.natori.miyagi.jp/page/43038.html （効果検証） 令和8年8月公表予定

事業概要：歴史文化資源リブランディング事業

継続

申請者	宮城県多賀城市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	26,999千円 (3,272千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	多賀城の固有の価値を持つ歴史文化資源に多様な視点や流行を取り入れた取組（トレイルアクティビティ、イラスト・映像による朗読劇、東北弁によるシェイクスピア舞台劇、歴史資源をモチーフとするカプセルトイの販売）によって新たな層の観光客を誘客するとともに、市民に対するインナープロモーションを行うことによる市民が起点となる市外へのプロモーション効果によって、観光客入込数の増加と観光消費額の増加を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 公式リーフレット等により造成した宮城オルレ多賀城コースの利用促進のためのプロモーションを行う。また、1300年連綿と受け継がれてきた自然や歴史文化を未来に継承するキッカケとするイラスト朗読劇「多賀城幻燈会」を開催し、これに合わせて多賀城の歴史・文化をまとめたイラストパンフレットを制作・配布する。					 ←宮城オルレ多賀城コース オープニング当日の様様	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・パンフレット等による宮城オルレ多賀城コースプロモーションに係る経費（委託料）747千円 ・多賀城幻燈会運営に係る経費（委託料）2,525千円					 ←宮城オルレ多賀城コース 公式リーフレットイメージ	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+25.3億円） ②観光客入込数（+16,717人） ③新商品販売による売上額（+127.8万円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tagajo.miyagi.jp/kikaku/shise/shisaku/sogo/kekaku/sogosenryaku.html

事業概要： ～1300年の歴史文化とアーバンスポーツの融合～ スポーツ等
ツーリズム推進プロジェクト

継続

申請者	宮城県多賀城市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	278,305千円 (80,276千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	特別史跡多賀城跡附寺跡「多賀城政庁跡」や国宝指定された「多賀城碑」等の歴史遺産と、都市型スポーツの代表的競技である「スケートボード」等の融合による、独自のスポーツ文化ツーリズムを形成し、新しい魅力を持つ者が生まれ、育まれるエリアを創出する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スケートパーク内で行われる国内外大会等実施に向けた組立式観客席及び保管用倉庫、大型スクリーンとプロジェクター、荷役運搬機器の整備を行う。また、スケートパーク利用者の周辺施設への周遊を促すため、交通アクセス（シェアサイクル、キックボード、デマンド交通等）を導入する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・観客席等保管倉庫整備 29,227千円 ・利用者利便向上のための什器・備品整備 41,049千円 ・多賀城市中央公園スケートパーク周辺交通アクセス向上事業（委託料）10,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市域内人口（+1,000人） ②パーク利用者数（+15,700人） ③地域住民利用者数（+6,280人） ④まちに賑わいがあると感じる市民割合（+5%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tagajo.miyagi.jp/kikaku/shise/shisaku/sogo/kekaku/sogosenryaku.html

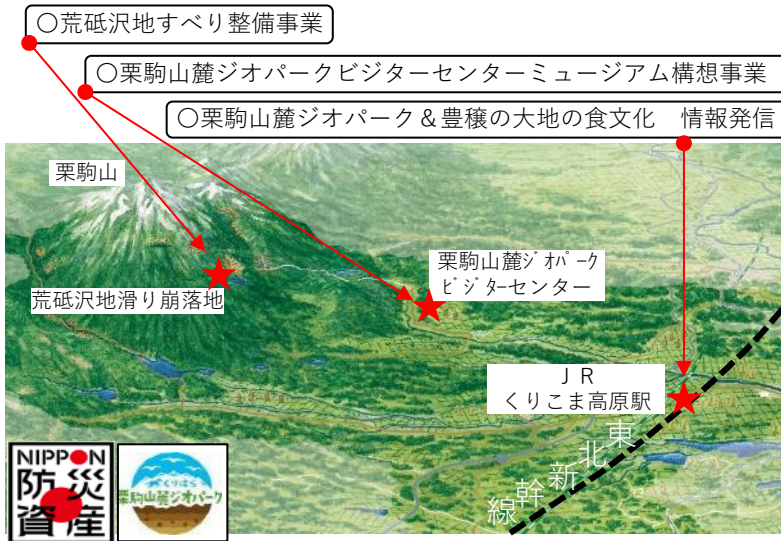
事業概要：こどもの遊び場を核とした子育て支援拠点整備事業

継続

申請者	宮城県岩沼市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	962,601千円 (271,476千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、子育て世帯の市外からの人口流入を図り、市内外から「子育てしやすいまち」として選ばれるため、子育て世帯からのニーズが多い、子どもの遊び場を整備するものである。また、単なる屋内の子ども遊び場ではなく、子育て支援や移住支援に関する情報を発信する機能を備え、多くの来場が見込まれる子育て世帯に、本市で子育てするメリットを知ってもらうことができるものである。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 これまで会議室やパソコン室として利用された総合管理棟において大規模にリニューアルし、子ども向けの屋内あそび場を整備する。また、広い庭園を活かし、水遊び場や芝生、遊具、昆虫ドーム等の整備により、屋内外で大きく体を動かして遊べる施設を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・子どもの遊び場、多目的トイレ建築工事 177,028千円 ・大型遊具工事費 77,838千円 ・建築工事施工監理委託料 9,075千円 ・庭園整備業務 7,535千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数 (+440世帯) ②施設の入場者数 (+98,314人) ③デジタル遊具に係るイベント参加人数 (+33,695人) ④市民満足度調査「子育て支援の充実」における満足度 (+0.138ポイント)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.iwanuma.miyagi.jp/shisei/shisaku/sousei_koufukin.html

事業概要：NIPPON防災資産栗駒山麓ジオパークツーリズム推進事業

継続

申請者	宮城県栗原市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	379,100千円 (220,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・ジオパーク施設のソフト面、ハード面の更なる充実を図り、教育旅行、企業研修、自治体等の防災研修、旅行客、研究者等、災害伝承による更なる交流人口の拡大、豊穡の大地の食文化を発信し、観光誘客につなげる。 ・拠点施設となる栗駒山麓ジオパークビジターセンターを核として、荒砥沢地滑り崩落地等各ジオモデルコースを創出し、東北新幹線くりこま高原駅での情報発信と連携して、観光誘客や消費を生み出すことを目標とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 拠点施設である「栗駒山麓ジオパークビジターセンター」の模様替えを行う。施設内の展示物等を、より魅力あるものとし、日本最大級の地すべり地形である「荒砥沢地すべり」を整備することにより、来訪者が安全で安心して視察見学ができる体制を構築する。さらに、栗原市の玄関口である「くりこま高原駅」での情報発信を通じ、集客と滞在時間の向上につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 20,000千円 ・広域連携情報発信及び特産商品「栗駒山麓のめぐみ」情報発信事業 認定商品PRポスター・チラシ・リーフレット等の作成 1,000千円（印刷製本費） 認定商品PRのための二次元コード制作業務 1,000千円（委託料） ○拠点整備事業 ・栗駒山麓ジオパークビジターセンターミュージアム構想事業 18,000千円（建築物模様替業務） ・荒砥沢地すべり整備事業 200,000千円（視察通路及び防護柵整備事業工事）						
主なKPI	①栗原市観光入込客数（+20万人） ②教育旅行宿泊者数（+3千人） ③観光消費額（+10億円） ④栗駒山麓ジオパークビジターセンター入館者数（+3万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年6月公表予定

事業概要：世界かんがい施設遺産「南原穴堰」ツーリズム拠点推進事業

継続

申請者	宮城県大崎市					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	28,873千円 (8,100千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 世界かんがい施設遺産「南原穴堰」(R6年9月3日認定)のツーリズム拠点環境整備を進めることで、インバウンドも含めた新たな交流人口の確保を図る。 - 大崎耕土のサステナブルな農畜産物等の分析・メニュー開発、各施設での利用を高め、食の魅力を高めたガストロノミーツーリズムを推進し、高付加価値化及び地産地消を進め、循環経済を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 世界かんがい施設遺産「南原穴堰」のツーリズム拠点としての整備と併せて、地域の持続可能な農畜産物等の分析・メニュー開発により大崎耕土のガストロノミーツーリズムを推進し、農畜産物等の高付加価値化及び地産地消、循環経済を促進するとともに、新たな交流人口の確保を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ツーリズムWEB制作(委託料) 1,000千円 ・南原穴堰プレミアムツアー試行(委託費) 1,500千円 ・農畜産物等のナノテラス活用の分析(委託料) 1,000千円 ・食利用店舗へサンプル品提供及び販促用品制作1,500千円 ・誘致用PR経費2,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①鳴子温泉郷の観光消費額(+10億円)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和 9 年 3 月公表予定
	②大崎耕土の食材を利用する宿泊施設及び飲食施設数(+100施設)						
	③大崎耕土の食材を利用する宿泊施設及び飲食施設等の客単価増減率(+20%)						

事業概要：水辺でつながる賑わい・新たな地域づくりの拠点整備事業

新規

申請者	宮城県大崎市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	270,194千円 (9,194千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・幅広い世代が集える健康づくり事業や川と親しむイベントを実施し、関わる人材を増やすことにより持続可能な地域づくりにつなげ、交流人口や関係人口、更には定住人口の増加や地域の活性化、地域住民の満足度向上を目指す。 ・拠点で実施する各種イベントを通じて、世界農業遺産「大崎耕土」を基盤とする地場産品等の販路拡大・ブランド価値の向上につなげ、地場産業の活性化と地域経済への波及効果を創出する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「江合川かわまちづくり親水公園（仮称）」の測量設計、駐車場や園路の整備工事等の実施により、水辺空間を活用したエリア一帯の整備を進める。また、併せて水辺環境を活用した地域づくりに関わる新たな担い手を研修等により育成し、地元企業との連携や地域内の交流を促進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・ 測量設計委託業務 9,194千円 公園、駐車場、アウトドアスペース等の整備 周辺街路灯の整備等						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①当該地域への転入者数（定住人口）（+200人） ②地域活動における参加団体の拡大（+30団体） ③交流拠点の整備およびソフト事業の実施による年間施設利用者数（+16,000人） ④地場産品等の販売額（マルシェ・かわカフェ等での売上）（+2,000千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月公表予定

事業概要：地域課題解決型「ローカル・ゼブラ企業」創出・継業エコシステム構築事業

新規

申請者	宮城県富谷市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	84,758千円 (28,586千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域課題解決と収益を両立する「ローカル・ゼブラ企業」を創出し、良質な雇用確保による若者世代の定住促進と人口増加を目指す。 ・積極的な事業承継支援で黒字廃業を阻止し、起業家らによる「第二創業」により、地場産業の革新と地域資源の存続を図る。 ・2拠点連携により地域へのイノベーションを誘発させ、人材と資金が地域内で循環する「自立した経済エコシステム」を確立する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、これからの「稼げるまち」を実現するため、既存のまちづくり起業塾「富谷塾」を刷新し、起業と継業（事業承継）の両輪で地域経済を活性化するものである。具体的には、地域課題解決と収益を両立する「ローカル・ゼブラ企業」の創出、商工会と連携した「事業承継エコシステム」の構築、及び市内に2拠点あるシェアオフィスの有機的な連携によるイノベーション創出を行う。					地域課題を「稼ぐ力」に変える 「ローカル・ゼブラ企業」創出・継業エコシステム構築構想の実現 ローカル・ゼブラ企業の創出 地域課題の解決と利益創出を両立させるローカル・ゼブラ企業の育成支援 産官学労官が連携した伴走支援 TOMI 起業・創業の集中支援拠点 NIYADO 起業後のサポート拠点 事業承継エコシステム 潜在的な承継ニーズのデータベース化により既存事業の廃業を阻止 「起業家×承継ニーズ」のマッチング 起業支援プログラム受講者 ステージ別の段階的支援プログラム ・スモールビジネス／フリーランスコース ・スタートアップ／ゼブラコース	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域課題解決型企业創業支援及び継業エコシステム構築業務 (委託料) 14,850千円 ・イノベーション創出拠点一体的運営管理業務 (委託料) 10,736千円 ・スタートアップ誘致・戦略的広報業務 (委託料) 3,000千円						
主なKPI	①「自立した地域経済圏の確立（住みたくなるまち実現）」による人口増加（+270名） ②本事業における新規創業者数（+30名） ③事業承継を見据えたマッチング数（+10件）					URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://tomipura.com/ （効果検証） https://www.tomiya-city.miyagi.jp/shisei/keikaku/sougou/soukeishin.html#r6

事業概要：豊かな自然・歴史・文化を活かした賑わい交流拠点創生事業

継続

申請者	宮城県柴田町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,265,370千円 (752,640千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・桜や旬の花々が楽しめるガーデンツーリズムの場、新たな知識や情報に出会える場、町特有の歴史や文化等の体験や学習・まちづくり活動ができる場、新たな仕事づくりを支援する場を整備し、新たな賑わいやマーケットづくり、関係人口の構築、地域への誇りや愛着の醸成を通じて、官民連携のもとに自律的な発展を目指す。 ・国内外の多様な人たちとの出会いや交流、つながりを通じて、新たな地域価値の創造、地域コミュニケーションの活性化や関係人口の拡大、さらに、若者の創業を支援することで、新たな仕事づくりやマーケットの拡大を図り、観光でも「稼げるまち」を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 実施推進主体となる協議会設立に向けた準備を進めるとともに、既存施設の改修によって新たな交流拠点や図書館を整備し、新たな切り口からのガーデンツーリズムを展開する。また、文化財や郷土資料のアーカイブ化、チャレンジショップ開設のサポート支援を一体的に実施し、「花のまち柴田」としての観光まちづくりをさらに推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・（仮称）エリアマネジメント協議会設立支援事業（委託料）5,000千円 ・ふるさと歴史文化アーカイブ事業 4,890千円 ほか ○拠点整備事業 ・ふれあい交流館の改修工事実施設計 6,530千円 ほか ○インフラ整備事業 ・新図書館の整備（工事請負費等） 635,292千円 ほか						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①船岡賑わいエリアの人口増(交流人口を含む)（+180,000人） ②船岡地区の社会動態（増加数）（+32人） ③体験コンテンツの開発件数（+4件） ④チャレンジショップの開設件数（+15件） ⑤花のまち柴田HPアクセス数（+500万件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年6月公表予定

事業概要：防災観光による観光交流・まちづくり推進事業

継続

申請者	宮城県丸森町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	50,000千円 (22,500千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 丸森地区MIZBEステーションに建設する丸森町水防センターに令和元年東日本台風災害の記憶（経験）と教訓を次世代につなぐためのコンテンツを整備し、観光と組み合わせた防災観光によるまちづくりを推進する。 - 丸森地区MIZBEステーションを拠点とした水辺空間を活用するフットパス等を整備し、交流人口の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 災害から身を守ることを学び、防災に関わるきっかけを通じた観光を新たな防災観光コンテンツとするため、災害展示コンテンツ等の整備、WEB・パンフレット等の媒体を活用した情報発信を行う。また、水辺空間に親しむ新たな集客コンテンツを創出するため、フットパスルートにサイン（案内板等）の設置、防災キャンプ等のイベントを併せて実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○災害展示コンテンツ等の整備 - 展示コンテンツの制作等（委託料）13,500千円 - PRのためのWEB構築等（委託料）1,000千円 - 防災学習や施設紹介パンフレットの制作（委託料）1,900千円 - かわまちづくりフットパスサイン制作 5,000千円 - 防災体験イベント実施（委託料）1,100千円					 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本町の観光消費額（+21.6億円） ②丸森町水防センター来場者数（+110万人） ③丸森町水防センターにおける防災教育実施者数（+6万人） ④災害伝承・防災教育イベント開催件数（防災訓練含む。）（+21回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.marumori.miyagi.jp/disaster/category/?category=75

事業概要：丸森町観光拠点再構築と滞在型観光DX推進事業

新規

申請者	宮城県丸森町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	238,680千円 (88,680千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	福島県境のトンネル開通に伴う「通過交通」の増大と、特定拠点への「来訪者集中」という課題に対し、西の玄関口「耕野地区」を観光ゲートウェイ（情報の関所）として整備し、人流を確実に捕捉する。併せて、「宮城オルレ」の国際認定取得と、デジタル連動型の全町的な案内サイン網の構築により、通過客を地域内へ深く周遊し消費を行う「滞在客」へと転換させ、経済波及効果を最大化する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「（仮称）耕野あぶくまりバーサイドパーク」を整備し、「デジタル連携型案内サイン（QR）」を設置し、スマホで情報を得て町へ向かう「情報の関所」とする。また、観光客の滞在時間延長のため、本年度の認定を目指す「宮城オルレ」を整備する。加えて町内名所に「デジタルチェックポイント看板」を網羅的に設置し、町内店舗へゲーム感覚で誘導する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・観光DXコンテンツ作成業務 5,000千円 ・オルレコース管理業務 8,080千円 ○拠点整備事業 ・（仮称）耕野あぶくまりバーサイドパーク測量設計業務 1,500千円 ・（仮称）耕野あぶくまりバーサイドパーク整備工事 20,200千円 ・観光デジタルサイネージ設置工事 4,500千円 ・観光看板サイン整備設計業務 43,000千円 ・オルレコース造成業務 6,400千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 観光消費額（+28.1億円） ② 丸森町への年間観光来訪者数（+27万人） ③ デジタルサイネージ利用者数（+3万人） ④ オルレコース利用者数（+3万人） ⑤ 平均滞在時間（+4時間）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年6月公表予定

事業概要：成長分野を取り込んだ新しい地域産業創出プロジェクト

～アニメ・マンガ産業を核とした産業創出・拡大の好循環モデルの構築～

新規

申請者	宮城県利府町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	13,355千円 (2,763千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・若年層の都市部流出のため、町内企業の人材不足による産業の停滞が懸念されることから、若者の就業意欲と親和性が高いデジタルコンテンツ産業及びマンガやアニメ産業という国際競争力を持つ分野を活用し、若者が地域で学び、働き、挑戦し続けられるまちづくり、魅力ある地域産業の創出につなげる。 ・アニメやマンガ産業を活用し、町内企業や各機関と連携しながら、本町で成長する新たな産業基盤を構築する。また、将来的に実施する各コンテストでは利府町を題材としたテーマにすることや、授賞式及び作品発表をイオンモール新利府のイベント会場で開催することで、自ずと取材等で本町を訪れる機会を促し、関係人口、交流人口の拡大まで影響させ、地域全体の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 主に小学生から大学生や漫画家やアニメーターを目指している若者を対象としたワークショップを開催し、マンガやイラストについて町内で学ぶ機会の創出し、クリエイターを育成する。また、国内外、町内外、年齢を問わず老若男女を対象とした町制60年に合わせ利府町の新キャラクター等を募集するイラストコンテストを開催する。					もっと先へ、チャレンジ利府！ ～みんなの夢がかなうまち～ 利府町総合計画（2023-2031） 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・デジタルマンガ体験事業（委託料）1,953千円 ・デジタルぬりえ体験事業（委託料）810千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①UIターン数（社会人口増加数）（+1,211人） ②ふるさと応援寄附件数（+16,720件） ③企業版ふるさと納税寄附件数（+18件） ④観光客入込数（+8,500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

申請者	宮城県大郷町					初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	343,000千円 (66,600千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	・大郷町の中央を流れる吉田川河川敷に多目的広場等を整備し、堤防上に産地直売所、物販、レストラン等の機能をもった商業施設（大郷町かわまちづくり観光交流拠点）を新設し、新たな町内の観光資源として、町への滞留時間を延長させ、観光消費額の増加など、様々な波及効果をもたらす拠点施設とする。 ・観光消費額の増加に向け、地域資源を生かしたソフト事業開発を進める。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 令和元年東日本台風により破堤した吉田川堤防の改修や河道掘削工事に併せ、社会実験を通じて河川空間活用の可能性を検証し、新たな賑わい拠点として整備する。河川敷には、広大な多目的広場やパークゴルフ場、堤防上には産地直売所、物販、レストラン等の機能をもった商業施設（大郷町かわまちづくり観光交流拠点）を整備し、観光消費額の増加を図る。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・社会実装検証業務委託（委託料）23,000千円 ○拠点整備事業 ・河川敷施設設計業務委託（委託料）3,300千円 ・河川敷施設整備工事（工事費）40,300千円							
主なKPI	①地域の観光消費額（+2.1億円） ②かわまちづくり事業エリアへの年間来訪者数（+35万人） ③かわまちづくり事業エリアへの滞留時間（+90分） ④かわまちづくり事業を核とした地域連携事業の実施数（+10回）					URL	https://www.town.miyagi-osato.lg.jp/soshiki/fukkousuishin/kawamati-mirai.html	
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		

事業概要：南三陸町高校魅力化プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	宮城県南三陸町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	306,940千円（50,260千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・活気ある学校として存続し、起業家のような発想や行動ができる新時代のリーダーシップを持つ人材を育てる ・全国募集による県外生の受け入れに伴い町内外の関係人口の向上を図る ・地域住民を巻き込んだ交流会の実施及び各種イベントを行い地域の活性化を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 行政と地域と高校を繋ぐ「高校魅力化コーディネーター」を配置し、全国募集で町外から進学してきた生徒が感じた町の魅力の情報発信、高校魅力化に係る協議会の運営支援を行う。また、高校独自の課題解決型学習「地域学・地域探求学」の創設や、高校敷地内に公営塾「志翔学舎」設置等により、高校の魅力を向上させる。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・高校魅力化コーディネート業務、SNSを活用した情報発信、協議会の運営（委託料）8,120千円 ・公営塾の運営業務（委託料）13,000千円 ・課題解決型学習実施経費（委託料）2,000千円 ・寮の賃貸借料・管理運営業務（委託料）25,940円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①高校を核とした関係人口（+118人） ②寮への入寮者数（+25人） ③公営塾「志翔学舎」年間利用者数（+11,001人） ④地域魅力発見ツアー年間参加者数（+280人）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されて いるURL https://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/soshiki/1002/10/index.html ※効果検証の公表は10月までに実施予定